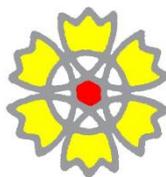


# 東京都立三田高等学校 創立100周年記念





# 東京都立三田高等学校 創立100周年記念誌

## 目次

校歌			1
教育目標			2
在籍数一覧			3
沿革			4
東京都立三田高等学校 100 周年記念に寄せて	東京都教育委員会教育長	浜 佳葉子	5
今こそ「教養・探究・立志そして世界へ」	校長	内田 隆志	6
時代が三田によく追いついた	第二十一代校長	笹 のぶえ	7
これからの発展に向けて	第二十二代校長	三保 和彦	8
未来にはばたく三田高校～創立100周年を迎えて～	第二十三代校長	原田 能成	9
母校の100周年を祝う	同窓会会長	三輪田 真	10
100周年おめでとうございます	後援会会長	古橋 義弘	11
創立100周年記念に寄せて	令和4年度 PTA会長	武井 恭子	12
三田高校と生徒の皆さんの飛躍を応援します	学校運営連絡協議会委員長	松浦 克美	13
新学習指導要領と新教育課程について	令和4年度 教務部主任	井上 裕徳	14
100周年を迎えて	令和4年度 生活指導部主任	栗原 信一郎	17
本校における進路指導のあゆみ	令和4年度 進路指導部主任	田村 尚志	21
100分の40、40分の10、10分の5	令和4年度 国際教育部主任	広瀬 克己	24
本校の募集対策について	令和4年度 庶務部主任	大友 尚	27
令和4年度 生徒概要			29
令和4年度 大学等合格実績（令和5年度入学者選抜）			30
図書館概況			34
施設一覧			35
学校平面図			36
学校案内図			37
在籍教職員一覧			38
卒業生数推移			44
コラム 丸山丈作初代校長の教育実践から引き出せること			47
編集後記			50

# 校 歌

*moderato maestoso*

あ お ぞ - ら -  
の さ と - す ま こ と - を し  
た - い - て - ぞ と く - を - や し の -  
う る わ し - き ま な び - ご わ - れ  
ら あ あ は な ひ ら く あ さ  
よ い そ し み て い よ よ  
み が き て し ら た ま の ひ と と な ら ま し

## 校 歌

作詞 大木惇夫  
作曲 乗松昭博

青空の さとす 真理を  
慕ひてぞ 徳をやしなふ  
うるはしき 学び児 われら  
ああ 花ひらく朝よ  
いそしみて いよよ 磨きて  
白珠の人とならまし

天つ日の くだす 光を  
掬みかはし 知恵をつちかふ  
学び舎は あふるる いづみ  
ああ 鳥うたふ朝よ  
親しみて いよよ むつみて  
さいはひのこの世祈らむ

大海に かよふ ひびきに  
こたへてぞ こだまかへして  
慈しむ 友どち われら  
ああ 風そよぐ朝よ  
くぐまらず いよよ たゆまず  
やすらひの国をおこさむ

## 教育目標

国際化や情報化が急速な展開を遂げた知識基盤社会の中で、「新たな価値を創造する力」が必要とされている。総合的な人格の陶冶の基、新しい時代の課題解決に対応し、社会貢献できるよう以下の人材育成を目指す。

- ア 幅広くしなやかな知性と潤い豊かな感性をもつ教養人
- イ 自主・創造の意欲と忍耐力・協調性との調和のとれた高い徳性をもつ指導者
- ウ 自己を厳しく律し常に進取の気概をもって社会貢献できる開拓者

## 教育方針

- ア 問題・課題の発見から解決に至る主体的な学びを通し、真の個性・独創性に資する質の高い学力を育む。
- イ 体験活動、集団活動を通して、自主・自律の心、集団や社会の一員としての自覚をもち、進んで社会に貢献しようとする精神を育成する。
- ウ キャリア教育を通して自己理解を促し、チャレンジ精神や進路実現に必要な資質能力を育む。
- エ 国際理解教育を推進するとともに、わが国の伝統・文化に対する理解を促し、真の国際人・教養人を育成する。

## 職員構成

令和5年5月1日現在

校長	1	経営企画室長	1	非常勤教員	4
副校長	1	主事（一般事務）	3	時間講師	14
主幹教諭	4	主任（図書館司書）	1	外国人指導員	7
指導教諭	1	実習助手	1	校医	4
主任教諭	33			薬剤師	1
教諭	8			産業医	1
主任養護教諭	1				

## 在籍数一覽

令和5年5月1日現在

	組	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	合計
1 学 年	男子	17	17	18	17	17	17	17	17	137
	女子	23	23	22	23	23	23	23	23	183
	小計	40	40	40	40	40	40	40	40	320
2 学 年	男子	18	18	18	18	19	19	18	/	128
	女子	21	20	20	21	20	20	20	/	142
	小計	39	38	38	39	39	39	38	/	270
3 学 年	男子	22	19	20	20	16	16	20	/	133
	女子	18	21	21	21	21	21	21	/	144
	小計	40	40	41	41	37	37	41	/	277
全学年合計		男子：398名		女子：469名		合計：867名				

# 沿 革

- |   |  |
|---|--|
| <p>大12. 1. 15 東京府立第六高等女学校設置認可</p> <p>12. 1. 23 東京府立第三高等女学校教諭 丸山丈作 校長に就任</p> <p>12. 4. 8 第1回入学式</p> <p>12. 5. 29 校地地鎮祭</p> <p>13. 4. 3 校服制定</p> <p>13. 9. 28 北棟落成 新校舎に移転</p> <p>14. 4. 5 体育館落成</p> <p>14. 6. 29 西棟落成</p> <p>15. 4. 4 講堂落成、校歌制定(作詞 土岐善麿、作曲 島崎赤太郎)</p> <p>15. 9. 1 南棟落成</p> <p>昭 2. 3. 31 隣接地2,135.53㎡大蔵省より払下げ</p> <p>3. 3. 24 第1回卒業式</p> <p>3. 5. 8 プール落成</p> <p>6. 3. 30 同窓会館落成</p> <p>7. 8. 15 プール温水設備完成</p> <p>10.12.25 農園寮落成</p> <p>16. 1. 31 校長 丸山丈作 依願退職<br/>本校教諭 井伊松蔵 校長に就任</p> <p>18. 7. 1 都制施行により東京都立第六高等女学校と改称</p> <p>18. 8. 12 校長 井伊松蔵 依願退職<br/>教諭 安河内次雄 校長事務取扱</p> <p>18.10.18 東京都立女子専門学校校長 常田宗七 本校校長兼任</p> <p>21. 3. 30 校長 常田宗七 依願退職<br/>東京都立女子専門学校教授 鈴木桃太郎 校長に就任</p> <p>23. 4. 1 学制改革により、東京都立第六女子新制高等学校と改称</p> <p>24. 6. 17 東京都立女子専門学校校長 百田治朗 校長に就任</p> <p>25. 4. 1 東京都立三田高等学校と改称</p> <p>25. 4. 8 男女共学実施</p> <p>25. 5. 新校歌制定(作詞 大木惇夫、作曲 乗松昭博)</p> <p>28. 3. 15 男女共学による最初の卒業式</p> <p>28.11.28 創立30周年記念図書館落成</p> <p>30. 9. 30 校長 百田治朗 東京都立教育研究所研究部長に転出</p> <p>30.10. 1 東京都立桜町高等学校校長 今野善胤 校長に就任</p> <p>37. 4. 1 校長 今野善胤 東京都立上野高等学校校長に転出</p> <p>37. 4. 1 東京都立玉川高等学校校長 西村三郎 校長に就任</p> <p>37. 4. 1 プール温水設備改修工事完成</p> <p>38.10. 創立40周年記念式典を行う</p> <p>42. 4. 1 校長 西村三郎 東京都立白鷗高等学校校長に転出</p> <p>42. 4. 1 東京都教育庁指導部指導第一課長 実方亀寿<br/>校長に就任</p> <p>44. 6. 新体育館落成</p> <p>46. 2. 音楽室・校庭改修工事完成</p> <p>46. 3. 31 校長 実方亀寿 依願退職</p> <p>46. 4. 1 東京都教育庁指導部指導企画課長 吉田元定<br/>校長に就任</p> <p>46. 9. クラブハウス落成</p> <p>47. 4. 校舎全面改修計画始まる</p> <p>48. 3. 校舎全面改修計画案作成</p> <p>48. 9. 創立50周年記念式典を行う</p> <p>49. 9. 校舎改築地鎮祭</p> <p>50. 3. 31 校長 吉田元定 依願退職</p> <p>50. 4. 1 東京都立北野高等学校 長谷部正治 校長に就任</p> <p>50.12.17 新校舎落成修祓式 使い始め式</p> | <p>52. 3. 校舎改築工事完成</p> <p>52. 4. 海外帰国生徒学級設置</p> <p>52. 6. 4 校舎改築落成式典</p> <p>54. 3. 31 校長 長谷部正治 依願退職</p> <p>54. 4. 1 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長<br/>杉村親一 校長に就任</p> <p>57. 4. 1 校長 杉村親一 東京都立白鷗高等学校校長に転出</p> <p>57. 4. 1 東京都立蒲田高等学校長 古松 彰 校長に就任</p> <p>58.10. 8 創立60周年記念式典を行う</p> <p>60. 3. 31 校長 古松 彰 定年退職</p> <p>60. 4. 1 東京都立小笠原高等学校長 藤川侃二 校長に就任</p> <p>平 1. 3. 31 校長 藤川侃二 定年退職</p> <p>1. 4. 1 東京都立多摩教育研究所長 依田好雄 校長に就任</p> <p>5. 3. 31 校長 依田好雄 定年退職</p> <p>5. 4. 1 東京都立日野台高等学校長 森山晴美 校長に就任</p> <p>5.10. 2 創立70周年記念式典を行う</p> <p>7. 3. 31 校長 森山晴美 定年退職</p> <p>7. 4. 1 東京都立大山高等学校長 岡本裕之 校長に就任</p> <p>12. 3. 31 校長 岡本裕之 定年退職</p> <p>12. 4. 1 東京都立新島高等学校長 米田敏男 校長に就任</p> <p>15. 3. 31 校長 米田敏男 定年退職</p> <p>15. 4. 1 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課<br/>主任指導主事 揚村洋一郎 校長に就任</p> <p>15.11.22 創立80周年記念式典を行う</p> <p>18. 4. 1 校長 揚村洋一郎 東京都立戸山高等学校校長に転出</p> <p>18. 4. 1 東京都立深沢高等学校長 須藤 勝 校長に就任</p> <p>21. 4. 1 校長 須藤 勝 東京都立桜修館中等教育学校兼<br/>都立大学附属高等学校校長に転出</p> <p>21. 4. 1 東京都東部学校支援センター学校経営支援担当<br/>副参事 及川良一 校長に就任</p> <p>22. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校22学級</p> <p>23.4.12~13 第1学年刈エンターション・キャンプ(河口湖)</p> <p>25. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校22学級</p> <p>25. 5.12 創立90周年記念式典を行う</p> <p>26. 3. 31 校長 及川良一 定年退職</p> <p>26. 4. 1 東京都立西高等学校副校長 笹 のぶえ 校長に就任</p> <p>26. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校23学級</p> <p>27. 4. 1 第1学年1学級減(7学級)全校23学級</p> <p>28. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校23学級</p> <p>29. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校23学級</p> <p>30. 4. 1 第1学年1学級減(7学級)全校23学級</p> <p>31. 3. 31 校長 笹 のぶえ 定年退職</p> <p>31. 4. 1 東京都西部学校経営支援センター支所学校経営支援<br/>担当課長 三保 和彦 校長に就任</p> <p>第1学年7学級 全校22学級</p> <p>令 1. 4. 1 第1学年7学級 全校21学級</p> <p>令 3. 3. 31 校長 三保 和彦 退職</p> <p>令 3. 4. 1 東京都西部学校経営支援センター支所学校経営支援<br/>担当課長 原田 能成 校長に就任</p> <p>令 5. 4. 1 校長 原田 能成 東京都立豊島高等学校校長に転出</p> <p>令 5. 4. 1 東京都立浅草高等学校長 内田 隆志 校長に就任</p> <p>令 5. 4. 1 第1学年1学級増(8学級)全校22学級</p> <p>令 5. 6. 9 創立100周年記念式典を行う</p> |
|---|--|

## 東京都立三田高等学校 100 周年記念に寄せて

東京都教育委員会教育長

浜 佳葉子



東京都立三田高等学校が、創立 100 周年を迎えましたことに心からお祝い申し上げます。

創立以来一世紀の長きにわたり、本校の教育に対して深い御理解と御支援を賜りました保護者、同窓会（ワカバ会）及び後援会、並びに地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、本校の教育の充実・発展に御尽力いただき、優れた成果を上げてこられた歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々の御努力に対して深く敬意を表します。

本校は、大正 12 年に東京府立第六高等女学校として創立されました。昭和 18 年に東京都立第六高等女学校、昭和 23 年に東京都立第六女子新制高等学校、昭和 25 年には校名を東京都立三田高等学校と改め、男女共学となって今日に至っています。この 100 年の間に 24,000 人を超える有為な人材が本校を巣立ち、社会の様々な分野でリーダーとして活躍し、優れた功績を挙げ、地域の方々のみならず、都民の皆様からも広く信頼される進学校として、歴史を重ねてきました。

本校は、「教養・探究・立志そして世界へ」のスローガンの下、「進学指導推進校」、「国際交流リーディング校」、「Global Education Network 20」、「TOKYO デジタルリーディングハイスクール（TOKYO 教育 DX 推進校）」として、「主体的な学びを通して、自ら考え課題解決を図り、イノベーターとしてすすんで国際社会に貢献できる人間の育成」を目標に掲げ、国際理解教育を推進するとともに、生徒一人一人の新たな価値を生み出す「創造力」を育むべく、全教職員が教科横断的な視点から、情熱をもってきめ細かな指導を行っています。

このような環境の中で、生徒の皆さんは、常に進取の気概をもって社会貢献できる開拓者を目指して、勉学に励むとともに、部活動や学校行事にも積極的に取り組むなど充実した高校生活を送っております。

生徒の皆さんには、創立 100 周年という記念すべき節目に当たり、多くの方々の努力によって築き上げられてきた本校の歴史に改めて思いを馳せ、伝統ある校風を受け継ぐとともに新たな創造と発展に向け、充実した学校生活を送ってほしいと願っております。そして、グローバル社会でリーダーシップを発揮し、日本をけん引する力強い人間として成長していくことを期待しています。

今後とも、関係の皆さまには本校への変わらぬ御理解と御支援を賜りますことをお願いするとともに、本校の更なる発展を祈念し、祝辞といたします。

## 今こそ「教養・探究・立志そして世界へ」

校長

内田 隆志



創立100周年を迎える伝統ある東京都立三田高等学校に、この4月1日付で着任いたしました。在籍する生徒の生き生きとした学校生活と、歴代の校長先生をはじめ先生方による熱意ある教育活動や卒業生の活躍に敬意を表するとともに、この伝統ある本校の第二十四代校長としての責任の重さに改めて気の引き締まる思いであります。

本校は「教養・探究・立志そして世界へ」のスローガンの下、主体的な学びを通して、自ら考え課題解決を図り、イノベーター（革新者）としてすすんで国際社会で貢献できる人間の育成を目標に掲げ、多彩な人材を送り出してきました。また、海外との交流の機会を多く設け、海外帰国生徒・留学生の受け入れ・送り出し等を行い、国際理解教育推進に力を入れています。伝統校として実績をあげ、今も成長を続けています。創立100周年を迎えたことで、新しい次の100年への第一歩がスタートしました。私たち教職員は、生徒の皆さんと共に新しい歴史を創造していきたいと考えています。

時代の変遷とともに、社会の求める人物像は変化し、学校の役割は変遷しています。そして、本校は東京都教育委員会から様々な指定校としてのミッションを受けてきました。進学指導推進校、言語能力拠点校、オリンピック・パラリンピック教育推進校、英語教育推進校、東京イングリッシュ・エンパワーメント・プロジェクト、BYOD研究事業指定校、知的探究イノベーター推進校、海外学校間交流推進校、Society5.0に向けた学習方法研究校、東京国際交流リーディング校、Global Education Network 20 (GE-NET20)、TOKYOデジタルリーディングハイスクールと実に様々な取り組みであります。これらの様々な取り組みは、生徒の可能性や実行力を高めるだけでなく、東京都のフラグシップ校として、東京都の目指す先進的教育の推進の役割を果たしてきました。ただ、手だてが重要なのではなく、志を立て自分の目指す道を意欲的に進むための手段として手だてがあるのだと思います。学びの場を共有し、様々な考えをお互い示し合い、時に討論し、時に同意する情熱あふれる高校生活の時間ほど有意義なものはありません。本校においては、そうした脈々とした流れがあり、お互いを尊重しつつ、「チーム三田」として常に先進的な実践があり、この結果として100年の伝統が培われてきたのだと実感します。私は、学生の時に指導教官から、学ぶことは哲学すること、哲学即ち生きる道を探すことと教示されました。人文科学、社会科学、自然科学を問わず、凡てにおいて然りだと言われたことを、探究活動に熱心に取り組む生徒の姿を見ることで、改めて思い出します。

三田高等学校には私が今までの教職経験の中で関わらせていただいた多くの方々が指導や支援に携わっていただいています。また、何よりも日々の生徒の取り組みに、大きな魅力を感じております。本校が次の100年に向かってより良い歩みが踏み出せるよう、「チーム三田」として、そして「三田スタイル」を確立しつつ「教養・探究・立志そして世界へ」の理念がより一層発展できるよう取り組んで参りたいと存じます。引き続き皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 時代が三田によりやく追い付いた

「教養・探究・立志そして世界へ」‘Have Wings Fly High!’



東京都立三田高等学校 第二十一代校長  
笹 のぶえ

東京都立三田高等学校が創立100周年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。

平成26年の着任の日以来、毎日、白とオレンジの東京タワーを眺めてきました。道すがら複数の大使館の特徴ある建物に目が留まりました。「東京タワーに一番近い都立高校、東京の真ん中にありながら実は世界の真ん中にある都立高校」これが、私が三田高等学校を紹介する際に使う決まり文句です。世界の真ん中にある三田高等学校は、世界に飛翔し活躍する人材の育成に尽力してきました。（パンデミックで、海外渡航は難しい3年間が続いていますが、教育方針は変わっていません。）

約10年間、三田高等学校の学校案内の冒頭にある「教養・探究・立志そして世界へ」と‘Have Wings Fly High!’は、私の前任の及川良一校長先生の三田高等学校にかける思いを集約したものです。

「グローバル社会で活躍する三田高生には、言葉や文化の異なる人々と共生し、探究活動を通して、皆が納得できる新しい価値を創造していく資質や能力が求められている。」と話しても、なかなか理解を得られませんでした。しかし、社会の変化をいち早く捉え、これからの時代を生きる三田高生に必要な真の学力が何かを見極め、三田高等学校の進むべき道をこの二つの言葉で象徴させました。

当時は、総合的な英語力もSTEAM教育も探究学習の重要性もまだ、市民権を得ていませんでした。それでも三田高等学校は、生きて使える英語力の育成を目指し、困難な中で海外修学旅行を継続し、カナダでの語学研修や即興ディベートに挑戦しました。緩やかな科目選択を推奨し、進学志望に左右されない5教科の学びを大切にしました。Mノート（学びの見通しを立て、主体的に学習を進めることを目的として作成）で、読書プレゼン・ホームプロジェクト・課題研究の3つのプレゼンテーションに愚直に取り組み、知的探究イノベーター推進校として東京都の探究学習を牽引してきました。生徒一人一人の志をかなえるためのキャリア教育の視点に立って、生徒に、世界の人々と互角に渡り合える人材としての生きる力を養ってきました。

グローバル社会、Society5.0の社会の到来を迎えた令和の時代の学校教育では、STEAM教育や文理分断ではないリベラルアーツの学びや「主体的・対話的で深い学び」による探究学習や総合的な英語力の育成は、当然のこととして認知されています。ようやく、10年前に三田高等学校が掲げた「教養・探究・立志そして世界へ」と‘Have Wings Fly High!’に、時代が追い付いてきました。

今後も三田高等学校は、この二つの言葉に託された進むべき方向性を見失わずに、世界に羽ばたく人材の育成に取り組んでいかれることでしょうか。そして、今、時代に追い越されることなく常に先駆者であるために、未来社会で活躍し続ける三田高生に必要な学力は何かを、再度見極めることが求められています。創立100周年の節目に当たり、新たなステージへの一步を踏み出す、東京都立三田高等学校の皆様の更なる御発展と御活躍を祈念いたします。

## これからの発展に向けて

東京都立三田高等学校 第二十二代校長

三保 和彦



三田高等学校100周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。平成31年4月、第二十二代校長として着任し、2年間、学校づくりに励んできました。強いリーダーシップをとるタイプではなかったので、生徒や先生方の様子をしっかり見て感じ取り、学校経営をしていました。

その中でも先生方からいろいろな相談を受けていると、単に進学実績だけを目指しているのではなく、社会の変化を捉え、将来を見据えて生きていくこと、教養人を育成することなど、人を育てる学校としてあるべき姿の教育目標が掲げられ、実践している素晴らしい学校であることが分かりました。この教育目標の実現のために、生徒・先生方へ強いメッセージを発信していったことをよく覚えています。

特に、先生方がアクティブ・ラーニングやルーブリックの活用、「なぜ?なぜ?」という深い思考の授業など科目に応じて、いろいろな授業に挑戦する姿を見て、これなら時代の変化に対応して生き残れる学校になれると確信しました。現1年生から観点別評価が入り、苦勞されていると思いますが、是非、高校版の三田高等学校にしかできない評価の仕方を確立して行ってください。それが生徒一人一人に適した教育（個別最適化教育）の一つの要因になっていきます。

生徒は女学校から始まった伝統を引き継ぎ、品があり優しい生徒が多いと感じました。学校全体の雰囲気も穏やかな感じで好きでした。受け身ではなく、自分で考えて行動する生徒が多く、部活動・学校行事・委員会活動において、生徒一人一人の心の中で充実していたと思います。ダンス部などは自分たちでダンスを考え、全国大会に出場することができて本当に嬉しかったです。

生徒諸君へ

\*100周年の重みを現在の若い心で感じ取れるだけ感じ取ってください。年を重ねるにつれて、重みは分かっていきます。心を大切に。

\*教養人・リーダー・開拓者になってください。

教養人 : 勉強ができる・できないではなく、幅広く学ぶこと。

世の中につながりがないものはありません。理系・文系という言葉はもう古い。

リーダー: トップでなくとも、人をまとめながら仕事を進めていくこと。

人は人と関わって、はじめて人としての幅広さができていきます。

開拓者 : 世のため人のため、協働して社会の変化に対応し、新しい社会を創っていくこと。

価値観を含め、新しいものが必要なのです。

\*自分で心を豊かにすることができる人になってください。

厳しい社会を生き抜いていくには、「絶えず進化」が必要です。進化するという気持ちを忘れずに生きていくことが大切です。生徒・先生方の潜在能力は高いものがあります。是非、能力を引き出して、時代に即した高校となり、発展し続ける学校であり続けてください。

## 未来にはばたく三田高校～創立100周年を迎えて～

東京都立三田高等学校 第二十三代校長

原田 能成



東京都立三田高等学校が創立100周年を迎えられましたことを、100周年記念行事を準備してきた校長として、本校を支えてくださった多くの方々のご尽力に感謝するとともに、心よりお慶び申し上げます。

本校は大正12年4月に東京府立第六高等女学校の第1回入学式を挙行了しました。その後昭和23年に学制改革により、東京都立第六女子新制高等学校と改称、昭和25年、今の東京都立三田高等学校と改称しました。昭和50年12月に新校舎となり、50年近くの歳月が経った現在もその校舎を活用して教育活動を行っております。歴代の校長先生方、在職された教職員の皆様のお陰で、3万3千人以上の生徒が本校から巣立ち、日本で、また世界で活躍しているところです。

この10年の東京都からの指定事業に目を向けると、平成23年度から指定を受けている進学指導推進校をはじめ、平成29年度には、言語能力拠点校、オリンピック・パラリンピック教育推進校、平成31年度には、英語教育推進校、東京イングリッシュ・エンパワーメント・プロジェクト、BYOD研究事業指定校、知的探究イノベーター推進校、令和2年度には海外学校間交流推進校、令和3年度には Society5.0 に向けた学習方法研究校、東京国際交流リーディング校、令和4年度には、Global Education Network 20 (GE-NET20)、TOKYOデジタルリーディングハイスクールの指定を受け、数々の成果を上げてきました。特に、知的探究イノベーター推進校の事業は現在も形を変え、探究学習を継承・発展させ、生徒の思考力や判断力、表現力などの育成をしています。英語教育推進校等についての取組や成果が認められ、GE-NET20として指定を受けました。BYOD研究事業指定校の取組も高く評価され、Society5.0に向けた学習方法研究校を経て、TOKYOデジタルリーディングハイスクールに指定され、学習ログやデジタル教科書についての研究を進めています。

グローバル化や情報化が進展する社会の中で、「教養・探究・立志そして世界へ」を教育理念としてこの先の100年も、全ての教科・科目に取り組ませ、特別活動や道徳・総合的な探究の時間を通して、自分の専門性を高め、仲間と協調・協力して新たな価値を生み出す「創造力」を育成して参りました。あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできる生徒を育成しています。そして、生徒が希望する進路を実現できる教育を提供していることは、三田高等学校の経営に携わったものとしても誇りとするところです。東京都立三田高等学校を見守り続けるとともに、更なる御発展と皆様の御活躍を祈念いたします。

## 母校の100周年を祝う

東京都立三田高等学校同窓会（ワカバ会）会長

三輪田 真



母校三田高等学校の創立100周年を、同窓生を代表してお祝い申し上げます。

三田高等学校は大正時代末期に府立第六高等女学校として創立されて以来の歴史を誇りますが、その第六高女はまだ男女格差の大きい時代に誕生した府立高等女学校の一つとして、高まった女子高等教育への期待を担っていた学校でした。第六高女の卒業生たちの残した文章には初代校長の丸山丈作先生がたびたび登場しますが、温水プールや体育館など一流の設備を整え体育にも重点を置いていたこと、西洋料理やテーブルマナーなどを学ばせて欧米の習慣を体験させたことなど、丸山先生の教育は時代を先取りしたものであったと思います。第六高女の卒業生には、法医学者の平瀬文子さん、地球化学者の猿橋勝子さん、「暮しの手帖」の大橋鎮子さん、オペラ歌手の砂原美智子さん、シャンソン歌手の石井好子さんなど、戦後それぞれの道で草分けとして活躍した方々がおられますが、第六高女での教育が大きく影響していたものと思います。

戦後は都立三田高等学校と改称し男女共学となりましたが、しばらくは女子生徒が多い時代が続きました。私が入学したのは学校群制度が始まった昭和42年ですが、当時から女子生徒が多く第六高女の雰囲気があちこちに残っていたことを思い出します。その後、戦前からの旧校舎が建て替えとなった昭和50年頃には男女生徒がほぼ同数となり、旧女子校という感覚は徐々に消えていったようです。三田高等学校の卒業生には著名人が多くはありませんが、社会のさまざまな分野で活躍する人材が多く育ってきました。三田高等学校では堅実な教育にとどまらず、英語教育、国際理解教育、合唱や器楽演奏による音楽教育といった伝統が受け継がれており、さらに東京都から何種類もの推進校の指定を受けて実績を積み重ねているところであり、それらが都立高校の中でも高い評価を受けている理由と思われる。この10年あまりを見れば、都立高校の中でも志望者が多く進学実績も良好であり、教職員の皆様、地域の皆様に支えられている学校ならではの良い雰囲気が感じられます。

ワカバ会では、同窓生に親睦の機会を提供するだけでなく、母校の現役生徒の学業や活動を支援するために奨学金給付事業も継続しております。景気低迷や昨今のコロナ禍もあって厳しい社会状況が続きますが、この環境にも負けずに将来に向けて努力する現役生徒や若い卒業生を見るにつけ、三田高等学校の将来は明るいものと思わずにはいられません。

母校が100周年を一つの通過点として今後も素晴らしい歴史を刻み続けることを期待し、エールを送りたいと思います。

## 100周年おめでとうございます



東京都立三田高等学校校後援会会長  
古橋 義弘

東京都立三田高等学校が大正12年に創立されて100周年を迎えましたことおめでとうございます。私たち三田高等学校後援会一同よりお祝いを申し上げます。

私の友人知人たちの中には三田高等学校の出身者も多いのですが、その中にボランティアですが東京都民生委員児童委員の会長仲間にも三田高等学校の出身者がいます。定年まで30数年にわたりボランティア活動を続けてこられたことに頭の下がる思いです。

私たち三田高等学校後援会は、昭和26年にPTAと時を同じくして活動を始め今日に至りますが、「本校の発展に寄与するために学校と連携し、その後援に当たる」ことを第一の目的として、卒業生の保護者有志をもって発足しました。以来、歴代の後援会会長を務められた方々をはじめ、役員や会員の不断の熱意により様々な学校行事への後援を進めてきました。また、後援会では「生徒諸君が伸び伸びと学校生活を楽しめるよう、地味でも良い、学校の黒子として存在するのが後援会本来のあり方である」という伝統的な主旨を継承していましたが、小野光昭会長の時から黒子に徹することが、在校生諸君や卒業生の保護者に対して後援会への理解を薄れさせる原因となっていることに思いが至り「活動が見える後援会」ということを新たな活動方針に加えて、生徒たちが三田高等学校において、より充実した学校生活を送れるよう側面から支援していくことにしました。

平成18年の田中絢子会長の時になり、「白珠祭」を何とか盛り上げたいとPTAと協力をして、翌春に三田高等学校を受験する中学3年生に「合格祈願のポップコーン」を差し上げる活動を始めました。役員の方のデザインにより合格祈願のカードを、定期券等と一緒に持ち歩けるように大きさを考えて作成したこともあり、入学した生徒たちから「持っています」と言っていたいています。

私たちの代になり、三田高等学校の特徴ともいえる「国際理解教育」に少しでも関わりのある活動を考え、平成20年から英語体験学習に加えてマナーを学ぶために、福島県にある神田外語グループの教育観光施設 British Hills への宿泊研修バスツアーを開始しました。当初は不足していた高校生向けのレッスン内容を充実していただくよう神田の外語学院へ足を運んでお願いしました。そして国際交流担当教諭の協力のもとに生徒を引率するとともに費用の援助をしてきました。それが、笹のぶえ校長に認められて、以来三田高等学校の行事の一つに移行して毎年続けることができています。

内容の充実に加え、1泊であった研修も2泊に増やされています。当初の目的であった行事の発展を見ることができまして、発案し推進した私たち後援会一同たいへん喜ばしく思っています。

結びに、本校の100周年とその先までも周年を重ね、希望溢れる未来をつくっていかれますことを後援会一同願っています。

## 創立100周年記念に寄せて

令和4年度 P T A会長

武井 恭子



東京都立三田高等学校が創立100周年を迎えましたことを心よりお喜び申し上げます。また、記念すべき100年の節目に、P T A会長として本校の教育活動に関わることができたことを大変光栄に存じております。

大正12年に東京府立第六高等女学校として開校以来、本校は今日まで数多くの生徒の巣立ちを助け、社会のあらゆる分野へ送り出してきました。卒業生が様々な場所で活躍していることは御案内のとおりです。歴史と伝統に支えられた本校での3年間、様々な経験や思い出を胸に秘めながら、一人ひとりが社会に、地域に貢献している姿があるのではないのでしょうか。

P T Aに携わるようになってから学校へ足を運ぶ回数が増えたことにより、肌で感じていることがあります。それは、生徒の礼儀正しさや前向きな姿、そして、先生方と生徒が一体となっている「チーム三田」を実現している姿です。廊下ですれ違う生徒たちが皆、気持ちのよい挨拶を交わしてくれることや、生徒に寄り添う先生方の丁寧な指導の様子から、その一端を知ることができます。

私の長女は中学2年生の時に白珠祭に参加するため、初めて本校を訪れました。活気あふれる白珠祭、そこで活躍する生徒たちや先生方の姿を目の当たりにしたことが、進学の高い意欲につながりました。同じ経験をした生徒は長女以外にもきっとたくさんいたことでしょう。素顔が垣間見られる場面であっても礼儀正しい様子が見られたり、学校が一体となって行事に取り組む熱心さを感じたりできるのは、本校の教育がしっかり根付いている証です。

しかし、新型コロナウイルスの世界的流行によって、今まで実施できていたことや、これから取り組もうとしていたことが、制限される学校生活になってしまいました。入学前から楽しみにしていた白珠祭も、残念ながら恒例のかたちでは開催されませんでした。

私が先生から聞いたところでは、生徒たちは愚痴をこぼすことはあっても、誰かを責めることはなく、今できることは何か考え、協力し合って行事を成し遂げようとしているという前向きな姿に感心されたそうです。本校100年の歴史で、これまでも様々な困難を乗り越えてきたと推察しますが、生徒のたくましさは本校が培った伝統と言えるのではないのでしょうか。コロナ禍での教育活動も、本校の歴史の1ページとして刻まれることでしょう。

これから先も生徒たちの学びや、思い描いている夢への活動を止めるわけにはゆきません。困難な状況を乗り越え、更なる発展へと続くために、私たちP T Aも先生方、保護者の皆様となお一層協力して活動を続けていく所存です。

新たな100年に向かって、三田高等学校がこれまで築いてきた伝統の上に、力強い歩みを重ねられますことをお祈りして、お祝いの言葉といたします。

## 三田高校と生徒の皆さんの飛躍を応援します

学校運営連絡協議会委員長・東京都立大学名誉教授

松浦 克美



三田高等学校の創立100周年、おめでとうございます。この大きな節目の時を、皆様とお祝いできることをうれしく思います。

私は、平成23年から三田高等学校の学校運営連絡協議会委員として、三田高等学校に毎学期通っています。学校運営連絡協議会というのは、学校を良くしていくために外部から保護者や卒業生、近隣の小中学校の校長先生、警察や消防署の担当者、教育関係者などが集まって、学校運営の中心となっている三田高等学校の先生方とともに意見交換したり話し合いをしたりする協議会です。そこで話し合いも参考にして、学校が運営されていきます。

就任したきっかけは、平成23年に着任された副校長の降幡先生が都立大学の後輩で、教員になられた後も大学院に通われていて隣の研究室でいろいろお話しをしていたからです。私は、大学の授業を全て学生からの質問や疑問に答える対話形式で進めてきました。私から一方的に話すということはありません。学習というのは、自分から学びたいというのが常に基本だと考えるからです。降幡先生は、そのような生徒の主体性を中心とした学習を三田高等学校にも紹介して欲しいということでした。当時の高校教育一般の考え方とはずいぶん違っていたので、私は少し躊躇しました。

まず、降幡先生ばかりでなく校長先生や学校運営連絡協議会の担当の先生が同じような考えであるかどうかを確認したくて、三田高等学校の校長室へ伺ってお話しをしました。これを言えば断られると思って、「私は、生徒が予習をしてくることは授業での驚きや発見が少なくなるので反対の立場なのですが、そういう立場でもいいですか？」とお尋ねしました。担当の英語の先生が「私も同じような考えです。」と言われたので、「英語は単語の意味とか予習が必要なのではないですか？」と尋ねると、「英語こそ、英語を英語だけを使って教えようとしているのに、単語の意味を日本語で予習すると生徒の頭の中に日本語が介入してきて困るのです。」とおっしゃいました。それで、喜んで三田高等学校のお手伝いをさせていただくということになりました。

委員として三田高等学校に通い始めると、一部の先生方を除いて、先生から良い授業や良い生活指導をすることが重要で、生徒の主体的な学習や主体的な生活についてはそれほど重視されていないようでした。協議会の席上での私の発言も、最初のころは改善をお薦めすることばかりが多かったように思います。しかし、だんだんと生徒の主体的な学習や生活への先生方のご理解が深まってきて、最近では改善をお薦めすることがほとんどなくなってきました。

今の三田高等学校の生徒の皆さんは、自分でよく考えて主体的に学習をされている方が多いと感じています。令和4年から高校でも始まった新しい学習指導要領では、生徒の「主体的で対話的で深い学び」が中心課題です。それを先行して進められている三田高等学校と生徒の皆さんが、そのような学習を通して、この100周年を機会にさらに大きく飛躍されることを心から応援しています。

## 新学習指導要領と新教育課程について



教務部主任  
井上 裕徳

教育課程とは、学校教育目標を達成するために、生徒の実態を考慮した教育活動の全体計画であり、教科・科目とその授業時数のバランスを考え、総合的に組織した学校の教育計画を指します。この教育課程を司る部署として教務部が位置しています。教育課程を編成するときに根拠となるものが、文部科学省が示している学習指導要領です。学習指導要領は、戦後すぐに試案として作られましたが、現在のような大臣告示の形で定められたのは昭和 33 年のことであり、それ以来、ほぼ 10 年毎に改訂されています。

平成 21 年 3 月に告示された、第 7 回全面改訂の学習指導要領では「生きる力」を育むという理念の下、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視していきました。また、言語や理数の力などを育むための教育内容を充実させ、授業時数も増加させていきました。これを受け、本校では、知的探究イノベーター推進校として、平成 30 年度入学生（第 73 期）から、第一学年の総合的な探究の時間を増加させる等、仲間と協働しながら主体的かつ自律的に知的探究を深める力を養い、応用力・思考力・創造力を高めることを特徴とした教育課程に再編しました（令和 3 年度入学生（第 76 期）まで）。

表① 旧教育課程 [令和3(2021)年度 教育課程]

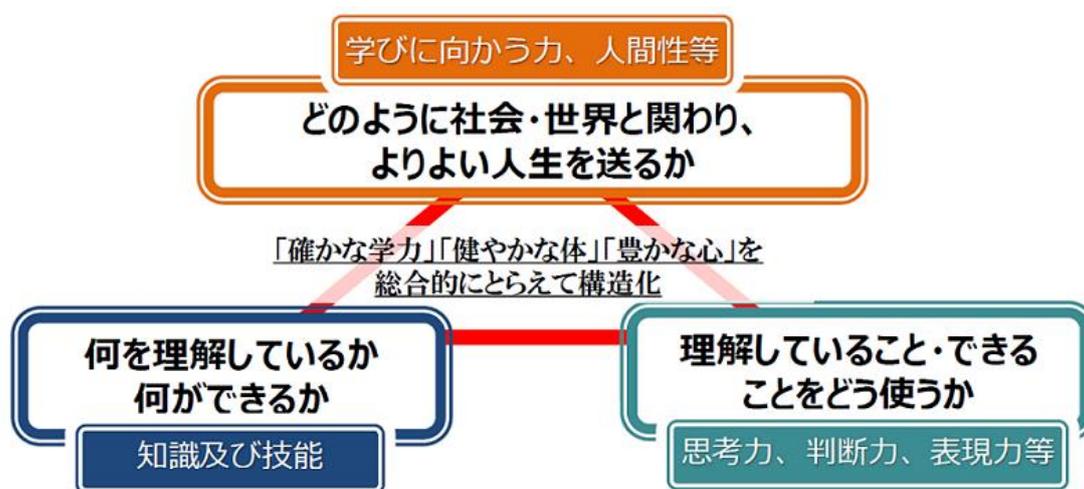
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1学年	国語総合				地理B		世界史A		数学I				数学A		生物基礎		化学基礎		体育		保健		音楽I 美術I 書道I		コミュニケーション 英語I		英語表現I		H R		総合		独語 仏語 中国語			
2学年	現代文B		古典B		日本史B			数学II			数学B		地学基礎 物理基礎		世界史B 化学		体育		保健		コミュニケーション 英語II		英語表現II		家庭基礎		H R		総合							
3学年 文系	現代文B		現代社会		体育			コミュニケーション 英語III			英語表現II		社会と情報		古典B		世界史B 日本史B 地理B		数学演習(文)		必修選択		自由選択科目						H R							
3学年 理系													数学演習(理) 数学III				物理 化学 生物																			

日本は国際的な存在感が低下し、他国の生徒に比べて生徒の自己肯定感や社会に参画する意識が低く、少子高齢化の進行により 50 年後には日本の総人口が 3 割減少し、令和 42 (2060) 年の生産年齢人口は平成 22 年と比べて半分に減少することが予想されています。日本の生産性(労働生産性水準)は米国の 5 割程度にすぎないというデータもあります。

生徒が将来就くことになる職業についても、技術革新の影響により大きく変化することになると予想されています。「子供たちの 65%は将来、今は存在していない職業に就く」(キャシー・デビッドソン ニューヨーク市立大学大学院センター教授) との予測や、「今後 10 年~20 年程度で、半数近くの

仕事が自動化される可能性が高い」(マイケル・オズボーン氏 オックスフォード大学准教授)などの予測があります。また、令和23(2045)年には人工知能が人類を超える「シンギュラリティ」に到達するという指摘もあります。グローバル化のさらなる進展やAIに代表される技術革新により、生徒の将来は予測不能な社会になると想定されています。このような時代に対応するために、本校の「教養・探究・立志そして世界へ」という旗印のもと、厳しい時代を乗り越え、自立した人間として、他人と協力しながら新しい価値をつくり出し、未来を切り開く力を付けることが求められます。

平成30年3月に告示された、第8回全面改訂の学習指導要領ではこれまで重視してきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は変更することなく、社会の変化を見据え、新たな学びへ(新しい時代に必要な3つの柱を育む)と進化しています。生徒が社会や世界に向き合い、自分の人生を切り開く真の力をつけることが必要とされていますが、そのために育成すべき資質・能力には、次の3つの柱が設定されています。



本校では、学習指導要領の大幅な改訂を受け、上記の3つの資質・能力を伸ばすとともに、総合的な探究の時間において取り組む課題研究において、各教科・科目の学習と関連させるため、教育課程を再編しました。令和4年度入学生(第77期)から段階的な導入を行い、令和6年度に完成する予定です。

令和6(2024)年度 教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1学年 新課程	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学I	数学A	生物基礎	化学基礎	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	情報I	家庭基礎	H	R	総合	独語 仏語 中国語																		
2学年 新課程	現代文探究I	古典探究	公共	地理総合	数学II	数学B	地学基礎 物理基礎	日本史探究 世界史探究 化学	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	H	R	総合																					
3学年 文系 新課程	現代文探究II	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	政治・経済 倫理	日本史探究II	世界史探究II	地理探究	古典探究・発展	必修選択	自由選択科目						H	R																		
数学演習(文)						数学C	物理 化学探究	物理探究 生物探究 地学探究																												
3学年 理系						数学III	数学C	数学演習(理)	数学C																											

評価の観点、「知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成」から「知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度」へと変化したことで、評価方法も変更することとなりました。「何を理解しているか・何ができるか」、「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の3つの観点を評価するために、ペーパーテスト、観察や実験、レポートの提出、発表、グループでの話し合い、ノートや作品の提出などが考えられます。「知識及び技能」と「思考・判断・表現」については、これらの内容で評価できるものですが、「主体的に学習に取り組む態度」が、どのように評価するか難しいところです。これは、「よりよい人生を送る」という、これからの時代に対応するために大切な内容を含んでいますが、「よりよい人生を送る」という内容が抽象的であるだけに、どのように評価をしたらよいか試行錯誤を繰り返しているところです。

本校の教科の取組によっては、この3番目の観点を評価するために、生徒が自分の今までの学習を振り返る「振り返りシート」を作成して参考にしたり、Teams や Classi などのアプリを使って、生徒からの振り返りのデータを集めたりする場合があります。

今までの学習評価については、評価した結果が生徒の具体的な学習改善につながっていないという反省があり、生徒の具体的な学習改善につながるものにするのと、教師の指導改善につながるものにしていくことが新しい学習指導要領では求められているが、「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、まさにこの学習改善に役立つことが期待されています。

さて、学習指導要領と教育課程に基づき、学習の手引きとして活用してもらうために年間授業計画を作成しています。本校の年間授業計画は「林窓<sup>りんそう</sup>」と名付けられています。本校は、九州の大名であった有馬家（久留米藩）上屋敷の敷地跡の一部に建っているのですが、江戸中期に活躍した有馬頼僮<sup>よりゆま</sup>（1714-1783）という数学好きの藩主がいたことに「林窓」という名称は、由来しています。彼は、藩邸に数学者を呼んで数学を学ぶとともに数学者を援助しました。そして、自らも一生懸命勉強した結果、一流の数学者となり、明和6（1769）年に『拾璣算法<sup>しゅうぎさんぽう</sup>』という数学書を著しました。学問をこよなく愛した頼僮の号であるところの「林窓舎<sup>りんそうしゃ</sup>」にちなんで、年間授業計画の名称としたのです。

これからの日本の未来を担う子どもたちを育てるために、文部科学省により新しい学習指導要領が作成されましたが、それに基づいて、本校の新しい教育課程が設定され、3つの観点を評価するための観点別学習状況の評価についての話し合いがもたれ、林窓が作成されました。

本校は、過去に「知的探究イノベーター推進事業」の指定を受け、課題研究の取り組みについてもノウハウを積み重ねてきました。この課題研究は、社会のグローバル化への対応や、知識・技能の習得、未知の状況に対応する思考力・判断力・表現力の育成を目指したものであり、今回の新しい学習指導要領に対応した内容になっています。課題研究をこなしてきた生徒の様子を見ると、自分の力で物事を考え、問題を解決する力が育っていることを着実に感じるすることができます。

本校は、新しい教育課程、観点別学習状況の評価、課題研究など、数多くの話し合いを通して、将来を担う子どもたちを育成する方法を構築してきました。今後、厳しい時代がやってきたとしても、十分に対応できる力をもった生徒を送り出すことができるものと考えています。

## 100周年を迎えて

生活指導部主任

栗原 信一郎



三田高等学校創立100周年を迎えるにあたり伝統ある本校の職員でいられることに誇りを感じます。本校での10年間の生活指導部としての取組を紹介し振り返ってみたいと思います。

### (1) 学校行事

〈体育祭〉 体育祭は実行委員会を中心に生徒主体で作る行事で第三学年の応援団が各団をまとめていく年度当初の大きな行事です。全学年を3団に分けて大井埠頭中央公園陸上競技場での開催を続けてまいりました。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされました。

ここ10年間は、各行事全てが生徒主体で行うことを念頭に置き、教員がアドバイスを入れるタイミング等のバランスを意識しながら取り組んでまいりました。

今では生徒主体での活動が定着し、後輩への引継ぎもスムーズに行っております。

感染症とオリンピック開催の影響により、令和4年度は、場所を新河岸陸上競技場に変更して実施いたしました。

久しぶりの開催ということもあり、不安な部分もありましたが大いに盛り上がりを見せたのは言うまでもありません。中でも初めてライブ配信（第三学年の保護者のみ入場可）を取り入れリアルタイムで各御家庭に体育祭の様子を見ていただけるようにいたしました。

〈球技大会〉 全学年実施から第一学年及び第二学年で行う行事となり、開催時期も変わっていききました。

球技大会は、クラス対抗ということもあり多くの生徒が団結し盛り上がりを見せる行事でありましたが、熱中症対策上、実施日の変更が余儀なくされました。したがって、現在は3月に変更され行われています。

〈白珠祭〉 毎年4,500名以上が訪れる本校の代表的な公開行事は、大変な盛り上がりを見せてきました。赴任したころは課題が山積しておりましたが、徐々に生徒達が「三田文化を外部の皆さんに発信する機会」と捉え歓迎の雰囲気づくりができあがっていききました。執行部の活躍をはじめとして



【写真】男子騎馬戦

大井埠頭中央公園 陸上競技場（令和元年）

積み重なっていく伝統はまさに三田でなくてはできない、大きな宝として継承されることでしょう。

感染症の影響を大きく受けたのは文化祭でした。何度も企画を練り直して最終的に校内のみ無観客の開催となった令和2年から令和4年。この3年間でライブ配信する方法の工夫や生徒たちの伝統を途絶えさせない思いは、多くの感動と自信を与えてくれました。

令和2年には、済生会中央病院の医療従事者の方々に向けて「メイク イット ブルー」の文字を掲げ病院関係者の方々にエールを送ることができました。

〈合唱コンクール〉 毎年第一学年及び第二学年で1月に開催され最後の行事として、その伝統は継承されてきました。圧巻は何といてもベートーベン作曲の交響曲第九番第四楽章「歓喜の歌」の演奏です。ホール全体が一体となり素晴らしい演奏を目の当たりにし、感動を与えてもらっております。

感染症の影響により、令和2年度は、残念ながらホールでの演奏は中止となりました。

令和3年度もホールでの合唱が中止となりましたが、実行委員の努力により校内で実施することとなりました。急な変更にもかかわらず実施できたことは大きな自信と新しい歴史を刻んだのではないかと思います。

各行事は、実行委員会が何か月もかけて検討しています。軌道修正は簡単にはいきません。

令和2年度は新型コロナ感染症の影響で、何度も企画変更を余儀なくされ、中止も覚悟しなくてはならない状況においての委員会でした。そんな中でも、各実行委員会の執行部中心に、新たな歴史を築いてくれた生徒の皆さんとそれを暖かく支えていただいた、保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

## (2) 10年間の各行事

平成25年度 体育祭 5月30日(金) 大井埠頭中央海浜公園陸上競技場  
白珠祭 9月13日(土)・14日(日) 「輝け青春 駆け抜けろ」  
合唱コンクール 1月31日(金) 大田区民ホール アプリコ大ホール  
課題曲 第一学年 校歌 第二学年 野原で踊るニンフなら

平成26年度 体育祭 5月31日(金) 大井埠頭中央海浜公園陸上競技場  
白珠祭 9月13日(土)・14日(日) 「その一瞬を思い出に」  
合唱コンクール 1月19日(日) 大田区民ホール アプリコ大ホール  
課題曲 第一学年 校歌 第二学年 フェリス



【写真】再彩祭 済生会中央病院に向けてのメッセージ(令和2年)

- 平成 27 年度 体育祭 5月 25 日（月）大井埠頭中央海浜公園陸上競技場  
 白珠祭 9月 12 日（土）・13 日（日）  
 「Keep on burning ～灰になるまで high になれ！～」  
 合唱コンクール 1月 15 日（金）大田区民ホール アプリコ大ホール  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 alla cazza
- 平成 28 年度 体育祭 5月 31 日（火）大井埠頭中央海浜公園陸上競技場  
 白珠祭 9月 12 日（土）・13 日（日）  
 「こんな三田が見たかった！開催！来なさい！白珠祭」  
 合唱コンクール 1月 13 日（金）大田区民ホール アプリコ大ホール  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 ジンリュの戦い
- 平成 29 年度 体育祭 5月 30 日（火）大井埠頭中央公園陸上競技場  
 白珠祭 9月 9 日（土）・10 日（日）  
 「唯一無二の思い出を!! 拍手 喝采 白珠祭!!」  
 合唱コンクール 1月 19 日（金）大田区民ホール アプリコ大ホール  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 野原に踊るニンフたち
- 平成 30 年度 体育祭 5月 29 日（火）大井埠頭中央公園陸上競技場  
 白珠祭 9月 15 日（土）・16 日（日）  
 「Hey Say Thank you! 白珠祭 楽しみたいなら三田来なさい!!」  
 合唱コンクール 1月 17 日（木）大田区民ホール アプリコ大ホール  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 ああフィリスよひとりだけ
- 令和元年度 体育祭 5月 28 日（火）大井埠頭中央公園陸上競技場  
 白珠祭 9月 14 日（土）・15 日（日）  
 「来たれ！見たれ！三田 yeah！令和もやったる 笑顔満載 白珠祭！」  
 合唱コンクール 1月 17 日（金）大田区民ホール アプリコ大ホール  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 Alla Cazza
- 令和 2 年度 体育祭 5月 27 日（木）新型コロナウイルス感染症流行のため中止  
 白珠祭 11月 2 日（月）・4 日（水）再彩祭として実施  
 第一学年及び第二学年 映像鑑賞 第三学年 球技大会  
 合唱コンクール 1月 15 日（金）新型コロナウイルス感染症流行のため中止
- 令和 3 年度 体育祭 5月 26 日（水）学年別体育祭 本校グラウンド  
 白珠祭 9月 11 日（土）・12 日（日）無観客 学年別開催  
 合唱コンクール 1月 20 日（木）  
 めぐるパーシモンホールから本校音楽講堂に変更  
 課題曲 第一学年 校歌 第二学年 言わない

令和4年度 体育祭 5月25日(水)板橋区立新河岸陸上競技場  
白珠祭 9月10日(土)・11日(日) 無観客  
「REBORN 三田魂 青春万歳!白珠祭!」  
合唱コンクール 1月20日(金)めぐろパーシモンホール  
課題曲 第一学年 校歌 第二学年 校歌

### (3) 部活動

三田の活動の中に部活動は欠かせない存在となっております。部活動加入率は毎年100%を越えております。生徒の自主的な活動として部長会を定着させ問題点を全体で共有し自らが改善と努力を行っていく指導を心がけてまいりました。

学校見学会の案内等のボランティア活動にもとても積極的に参加しております。今後も益々の発展を期待しております。

### (4) 生徒会活動

生徒会は中央執行委員会といわれ、主に学校見学会や学校説明会に欠かすことのできない存在となっております。学校説明会では生徒目線で本校の紹介を自らの言葉で発信するなどとても精力的に活動しております。生徒相談コーナー等はとても人気で今や生徒からの発信力に脱帽するほどです。まさに、生徒と学校との協力により成立する行事となっております。

### (5) 安全活動

東日本大震災から10年が経ちました。その翌年からは新学年必須の宿泊防災訓練の実施がありました。最初の年は、第一学年と教職員全員が参加し10月中旬に実施しております。

数年前から4月下旬に行っておりましたが、感染症拡大により宿泊防災訓練が総合防災訓練に変更となり現在に至っております。

避難訓練等はここに挙げている通りです。(感染症の影響により令和2年度から教室にて実施)

全校避難訓練 5月 火災避難訓練と講話  
7月 地震発生時訓練と講話  
9月 台風や災害避難訓練と講話  
12月 自然災害避難訓練と講話  
12月 1学年総合防災訓練(消火訓練、AED)

## 本校における進路指導のあゆみ

進路指導部主任

田村 尚志



### (1) 高校生活と進路指導

本校は交通の便が非常に良く、「旧制女子高等学校（第六高女）」であることも相まってか、例年都立高入試における女子の倍率はトップクラスとなっています。また、本校が「国際理解教育」を旗印の一つとしていることもあり、英語を中心とした科目に興味・関心をもって入学する生徒が多いようです。

本校では高校生活においては、座学のみならず友人との触れ合いも含めて学校生活における全てが学びの場、すなわちそれこそが「本来の学び」であると考えており、学業のみならず部活動や行事にも積極的に取り組むように指導しています。

どこの学校でもそうだと思いますが、基本的に部活動や行事などを真剣に取り組んだ生徒ほど、受験に対しても高い志をもって粘り強く努力する傾向があります。また、たとえ壁に当たっても逃げることなく立ち向かい、それを乗り越えていくことで人として大きく成長していきます。したがって本校では第二学年3学期の始業式の進路ガイダンスで「部活動をやりながら受験生になろう！」を合言葉に、受験に対する意識付け・動機付けを図っています。

次に、より具体的な本校の進路指導について述べていきます。

東京都内には学習環境に恵まれた数多くの私立大学があります。また近隣には本校の多くの生徒がターゲットにできるような国公立大学がないこともあり、強く国公立大学を目指させるような指導はしていません。ただし、文系に比べて学費が高めで、かつ地方にフィールドを求めることができる理系（特に生物系や農学系・水産学系等）の場合は、地方も含めて国公立大学を視野に入れて考えるように指導をしています。

また「国公立大学受験を薦め、そのために5教科7科目にしっかり取り組むこと」という指導も行っておりません。これは私大文系志向の生徒が多い本校においては、「では私は、理数系科目は受験科目ではないので、勉強はしません。」と、逆手に取られかねないからです。

学習活動もスポーツなどと同じで、苦手な分野ほど本来は鍛えなければならない部分のはずです。例えば英語などの得意科目をさらに伸ばすことも大切ですが、思考力を問われる理数系科目などについても、たとえ苦手であっても逃げないで向き合う姿勢が大切です。したがって、最終的な進路志望先がどこであろうと、少なくとも第二学年までは幅広く学ぶように指導をしています。

今後は都内にある東京工業大学や一橋大学、あるいは国際系・語学系志望が多い本校においては、東京外国語大学などの難関国公立大学を目指す生徒の数を増やしていきたいと考えています。しかし、残念ながらそれが集団として形成されるまでには至っていないのが、本校の課題の一つです。

◆令和4年度（令和5年3月卒）の卒業生の進路状況

まず男女別の進路状況ですが、卒業生総数は7クラス271名、そのうち235名が4年制大学に進学しました。他の進学先は文科省管轄外大学校3名、短期大学1名、専門学校1名、就職2名、海外1名、そして残り28名が浪人となります。センター試験が共通テストに変わったこと、そしてコロナ禍の影響により現役進学率は数年前よりも1割上昇し、いよいよ9割の大体に乗りそうな勢いです。ただし一般に進学校程、現役進学率は低くなる傾向がありますので、これは必ずしも望ましい傾向ではないと考えています。

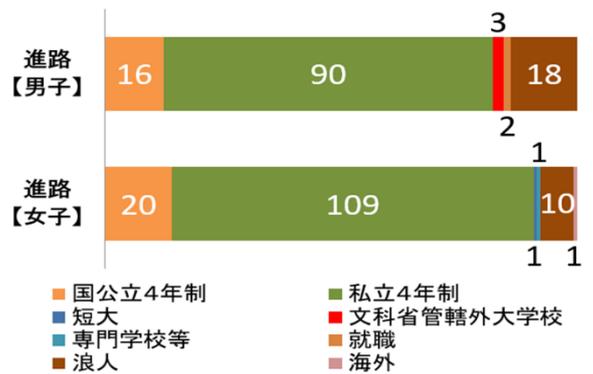
次に文理別の進路状況を示します。本年度の卒業生は、文系が174名、理系が97名でした。男女バランスは文系では14名ほど女子が多いですが、理系については以前に比べ女子が増え、男女比率がほぼ同じとなりました。学費などの関係から理系は国公立大学志向が高く、逆に文系は私立大学志向が高い傾向にあります。

次に主な合格先です。現役で国公立大学に合格した生徒は40名でした。また「早慶上理・GMARCH」の大学などと合わせると、総計478名の生徒が合格しました。一例を挙げれば京都大学に1名、東京工業大学2名、一橋大学1名、お茶の水女子大学1名、横浜国立大学4名、筑波大学4名、慶應義塾大学20名、早稲田大学29名、そして上智大学には36名が合格しました。また、立教大学は現役と浪人合わせての合格者数が87名と、都立高校で最も多くなりました（「サンデー毎日」調べ（※右図参照））。

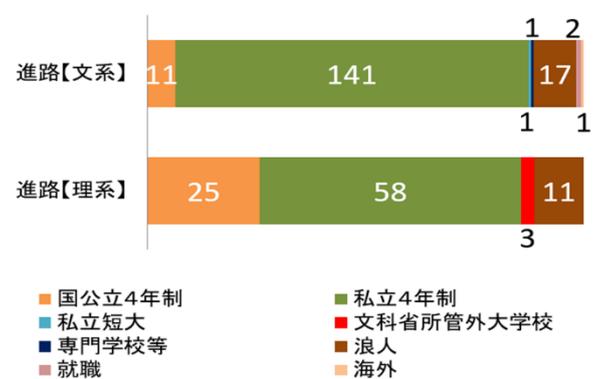
その一方で浪人生も東京大学1名、防衛医科大学校医学科1名、東京医科大学医学部医学科1名、一橋大学1名、慶應義塾大学6名、早稲田大学6名など、大変優秀な結果を残しました。このように志を高く持って臨んだものの、一歩及ばなかった生徒たちが捲土重来を目指し努力を重ねると、現役時に叶わなかったような志望校に合格する例は、数多く見受けられます。

次に進学者の内訳を、過去10年のグラフで示してみました。このグラフを見ると、今年の卒業生は「早慶上理」に進学した生徒こそやや減少したものの、国公立大学をはじめ、難関大学に進学した生徒数は、この10年で着実に増加し続けています。これは本校の成績上

進路状況（男女別） 令和5年4月11日現在

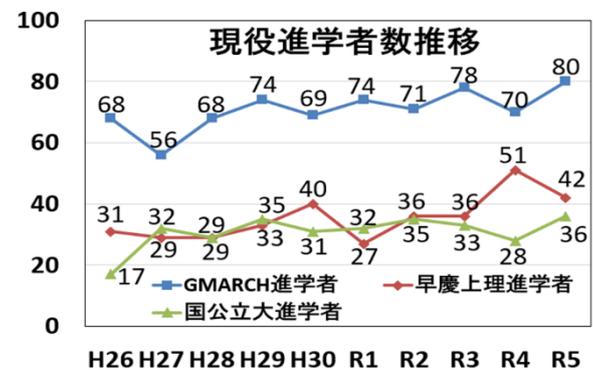


進路状況（文理別） 令和5年4月11日現在



<サンデー毎日> (2023.3.19号)より抜粋

立教大学	明治大学	上智大学
① 国公立大学 10名 ② 私立大学 77名 ③ 就職 1名 ④ 浪人 1名	① 国公立大学 10名 ② 私立大学 109名 ③ 就職 2名 ④ 浪人 1名	① 国公立大学 1名 ② 私立大学 36名 ③ 就職 1名 ④ 浪人 1名





## 100分の40、40分の10、10分の5

国際教育部主任

広瀬 克己



### (1) 国際教育部との出会い

私が三田高等学校に赴任し、国際教育主任に任命されたのは平成30年でした。100周年を迎える令和5年で丸5年になります。今回、記念誌に寄稿するにあたり、80年誌、90年誌を紐解くと、三田高等学校100年の歩みの中で国際教育部の歴史は40年を占めていることが分かりました。昭和32年にはすでにユネスコスクール(当時はユネスコ共同学校)に指定され、昭和52年から帰国生入試を実施してきた三田高等学校は、まだ「グローバル」という言葉が定着するずっと以前から、国際社会を見据えた教育を行ってきたことになります。ここ10年間のうち、私が来るまでの5年間を振り返ると、日本にインバウンドの波が押し寄せ、急速なグローバル化が進み、本校でも海外との交流がひっきりなしに行われていた時期ということになります。

都立高校では数少ない国際教育部という分掌、着任当初は、帰国生入試や国際理解講演会、夏期休業中の英語研修であるESPA (English Summer Programs and Activities) などなど、聞き慣れない行事や用語ばかりで戸惑いましたが、先達の皆さんが苦勞して組織と業務を整えてくださったお陰で、なんとか最初の1年が過ぎました。2年目を経験してだいぶ全体の流れもつかめ、いよいよ3年目はもっと大胆に、もっと自由に、多様な交流活動をしていこう、という思いでいたところで令和元年暮れを迎えました。調べてみると、「中国で発生したらしい新型肺炎」に関する日本での最初の報道は、その年の暮れも暮れ、12月31日13時41分だったそうです。そのときに、その後の生活が一変してしまうことをどれほどの人が予想していたのでしょうか。ほとんどの人はオリンピックで賑わう令和2年の夏を想像していたのではないのでしょうか。

### (2) 変わる日常、止まる交流

その頃の国際教育部の部会記録を見ると、12月19日にはマレーシアの教員が本校視察に訪れています。明けて令和2年の1月9日にはロシアのサハ共和国より高校生の団体が来校、交流の場を持ちました。2月には台湾修学旅行の交流校である大同高級中學からの訪問を予定していましたが、こちらは何回かの延期の末に、来日自体が中止になりました。今にして思えば、本校への最後の訪問相手がロシアの高校だったのも、なにか意義深いものと感じます。

令和元年度末から2年度1学期前半までにあたる、令和2年の2月から6月までは、もちろん学校現場だけでなく、日本中、世界中が大混乱でした。まだまだ得体の知れない恐怖感に支配されていました。学校内だけでも、集会の中止、相次ぐ行事の中止、厳戒体制下での入試、一般入試直後の一斉休校とそれに伴う学年末考査の中止、歌も祝辞もなく保護者も参列しない卒業式、などなど、非日常的な光景が続きました。

すでに海外留学していた生徒たちもオンライン授業に切り替わり、ほとんどホストファミリー宅から出ない生活が続きました。留学期間を短縮し、早期に帰国した生徒もいます。次世代リーダー育成道場を含め、渡航を予定していた留学は全て延期、最終的に中止に追い込まれました。本校に受け入れを予定していた留学生も同様です。海外からの本校への訪問は途絶え、日本から海外への渡航も完全にストップしました。大型連休や夏休みにあられだけ賑わっていた羽田や成田の、ほとんど無人の様子が繰り返し報道されていた頃です。

### (3) 影響と適応

この状況にすべての生徒と教員、すべての部署が計り知れない影響を受けたのは言うまでもありませんが、「国際交流」を活動の柱とする国際教育部にとっては、血流が止まるのに等しい状態でした。令和2年の議事録には、「延期」と「中止」の文字が並びます。少しの可能性を信じて夏の語学研修の準備は進めていましたが、すべて中止、学年では台湾修学旅行どころか、修学旅行自体がなくなりました。まだオンライン交流の体制は十分整っておらず、試行錯誤を繰り返しながら少しずつ前進、それに伴い環境も少しずつ整う、という状況でした。

通常、4月末に行う第一学年対象の「グローバル市民デー」も中止されましたが、その一部である「地球のステージ」は、感染症対策を徹底させたうえで12月に開催することができました。75期生にとっては入学後初の国際理解行事でした。医師でもある講演者の桑山紀彦先生からの「ウィルスは必ず馴化（環境に適応するために弱化する）」という言葉に、当時大きな希望をもらいました。時間はかかっていますが、現在その言葉どおりのことが起こっているように思います。

国際教育部の業務のもう一つの柱、帰国生への影響は、令和3年度入試候補者から大きくなりました。応募資格として最低2年間の海外滞在が条件となるのですが、期間を短縮し帰国を余儀なくされたご家族の相談が増え、他にも一時帰国もままならない、逆に一時帰国したら滞在国に戻れなくなったなど、例年とは異なるケースへの対応が多くなりました。応募者数にどのような影響が出るか全く未知数でしたが、幸いここ数年、あまり大きな変動は起きていないようです。

令和3年には、まだ細々ですが、オンライン交流も開始しました。参加した生徒たちは積極的に取り組み、新しい形での国際交流の可能性が見えました。一方、やはり参加者はごく一部に限られ、全体交流のような大きなうねりにはなりにくく感じています。日本に来る留学生も激減し、講演会などで触れあう機会も減ってしまいましたが、近隣の日本語学校の学生との交流など、学年全体で参加できる行事も徐々にですが実施できるようになりました。令和4年現在、オンラインも活用しながら、国際理解ならびにユネスコ関連の行事や活動もだいぶ復活してきました。

### (4) 元の日常、新しい日常

令和4年度のESPAでは、ブリティッシュヒルズ英語研修を、三田高等学校後援会からの援助もいただき、3年ぶりに実施できました。カナダ語学研修については、まだ集団での渡航が難しいということで再開できませんが、代替案として日本にいるカナダ人英語講師による2泊3日の宿泊語学研修、カナディアンキャンプも実施できました。前者は2年生、後者は1年生中心でしたが、生徒たちはどちらも本当に楽しそうに参加していました。その「場」と「空気」のもつ力を改めて実感させられます。

ここ数年の災禍の中で、遅れていると言われていた日本のオンライン環境が急速に整備され、国際交流にも新しい可能性が開かれてきたのは数少ないよかったことのひとつでしょう。生徒も教員もテクノロジーを使うことに対する抵抗感はほとんどなくなりました。大がかりな設備がなくとも、誰でもリアルタイムで海外とつながれる時代が、ほぼ突然のように日常になりました。しかし、実際に対面での交流が再開されると、そこでの体験の豊かさが再認識され、ネット経由の交流だけでは私たちがいかに「我慢していた」か、そのことが浮き彫りになってしまうのは皮肉なものです。仮想空間での体験は、失われていたものを補うものであって、まだまだ完全に置き換えられるものではないのかもしれない。

#### (5) 激動の「グローバル社会」

21世紀に入ってから、私たちは今まで知っていた日常がガラッと音を立てて変わってしまうような事象に度々遭遇してきました。令和4年になり、世界は少しずつでも落ち着きを取り戻していくかと思いきや、2月の終わりに「戦争」が始まり、毎日のように報道されるようになりました。普通の人たちが撮った映像が、ほぼリアルタイムで流れてくるのは本当に現代的です。一方で急激に円安が進み、久しぶりに海外に出かけた日本人が海外での物価の高さに驚愕する様子もSNSで紹介されます。しばらく交流が閉ざされていた間に、海外の状況はすっかり様変わりしていました。以前のような海外との活発な往来や交流を取り戻せるのはいつになるのでしょうか。

三田高等学校はグローバル社会で活躍できる人材を育てることを目指していますが、国際教育部が発足した40年前はおろか、20年前、10年前に漠然と共有されていた「グローバル社会」のイメージとはずいぶんかけ離れた世界になっています。10年後の記念誌の原稿を書く執筆者が見る「グローバル社会」もまた、今からは想像できないものになっていることでしょう。今後、世界の中での日本の在り方も変化を余儀なくされます。テクノロジーの進歩により、思ってもみなかった変化がもたらされるでしょう。なにより、気候変動が私たちの生活にどれだけ影響を与えていくのか、現在の生活がどこまで維持できるのか、考えればきりがありません。

#### (6) これからの「国際交流」に向けて

その中で、改めて「グローバル人材を育てる」とはどういうことなのか、そう簡単には答えは出せません。国際交流は何のためにあるのか。突き詰めれば、国も文化も違う相手を、少しでも理解しようとする、相違点を知り共通点を見つけることで、それまで関係がないと思われていた国や地域が、実は自分の生活に地続きであると、体験を通じて知ることだと私は考えます。英語はそのための手段に過ぎません。同時に、それは自国についての無知さに気づく機会でもあります。

世界の問題を世界規模で考えるのは、あまりにも複雑で膨大で、途方に暮れてしまいます。しかし、自分(の国)と相手(の国)の関係と捉えることができるなら、だいぶ楽になります。一つの交流体験を基礎にして、新たな交流を重ねていけば、体験の豊かさと理解の深さは増していきます。本校に在籍中、生徒たちの理解の基礎を作ることが、国際教育部ができる最大の貢献だと思います。少しずつ交流の機会が過去の水準に戻っていく中、新たに手にした技術の力も借りながら、次の10年の国際交流に少しでもつなげる、その過程の中から将来、予想もしなかったアイデアや人材が生まれること、それが国際教育主任としての、私のささやかで、壮大な願いです。

## 本校の募集対策について



庶務部主任

大友 尚

中学生及びその保護者が本校を見学した際、「がんばって勉強して、憧れの三田高等学校に入学したい。」というお声をたくさん頂戴しています。入学選抜における応募倍率は高水準を維持しており、人気ある都立高校として存在感を示しているところです。その要因として、主に5点挙げることができます。第一に、総合的な探究の時間において課題研究に先駆けて取り組むなど、これからの時代を見据えた教育課程を編成していること、第二に、充実した進路指導によって志の高い進路実現を果たし、大学進学実績が上がり続けていること、第三に、生徒自身が主体的に学校行事・委員会活動及び部活動に取り組んでいること、第四に、ユネスコスクールとして長らく国際理解教育を推進していること、第五に、ルールよりもマナーの、生徒への信頼を重視した生活指導によって、落ち着いた学校環境を提供できていることです。

庶務部は主に学校の募集対策を計画・推進する分掌として、上記に挙げた本校の価値を広報してきました。その取組の概要を以下に述べます。

### (1) 学校見学会

以前は年に1回のみだったり、毎週実施していたりと変遷があったようですが、現在では、事前予約制のもと、6月から8月にかけて、年に10回実施しています。

学校見学会は、生徒会主体で実施します。庶務部教員の助言を受けながら、スピーチ内容及びスライドを作成します。前日の椅子並べ・放送機器の準備は、部活動や放送部と連携しながら準備します。

当日の進行も生徒会が担います。令和4年度は、オーストラリアに留学中の生徒とオンラインで中継を結び、インタビューしました。終了後は、留学に興味がある中学生からの個別相談に直接応えるなど、ICTを活用した見学会を実施しました。アンケートによると、生徒目線による説明で学校生活の様子が理解できて良かったという回答が多く寄せられています。校舎案内も、生徒会を中心に、部活動生徒と連携して進めました。校舎の特徴、見どころ、中学生が気になるだろう箇所をピックアップして、誰が案内しても同じ内容が伝わるよう工夫しました。終了後は、中学生及びその保護者からの質問・相談を快く受け付けていました。本校生徒の面倒見の良さ、中学生からの興味の高さを実感させられました。

令和2年度には、コロナ禍で例年通りに実施することができませんでした。令和3年度には、約750組、令和4年度には、約1,250組の中学生・保護者に御来場いただきました。

### (2) 授業公開

平成18年度に土曜授業が開始され、平成21年度から学校説明会が土曜日に設定されるようになりました。現在は、事前予約制のもと、学校説明会を実施する日の午前授業に授業公開を設けています。アンケートでは、休み時間と授業時間の切り替えができている、在校生が笑顔で挨拶してくれた等、肯定的な

意見が多く寄せられています。令和2年度には、コロナ禍で実施せず、令和3年度には、約100組、令和4年度には、約300組の中学生・保護者に御来場いただきました。

### (3) 学校説明会

実施当初は年に3回実施していたようですが、現在では、秋から初冬にかけて、中学生の進路決定のスケジュールを考慮しながら、4回実施しています。

以前は予約なしで受け入れていたものの、コロナ禍以降、予約制を導入しました。令和3年度までは先着制を採用していましたが、来場希望者のエントリーの多さや保護者の就業時間の多様化といった実情を考慮して、令和4年度には抽選制に変更しました。これによって、応募組数を可視化できるとともに、応募倍率を公表することで、参加希望者が次回に申し込む際の参考に資することができるようになりました。また、先着順と比べて問合せ件数が大幅に減少したことで、教職員の業務軽減につながりました。

これまで、説明会で投影するスライドが後方の座席から見えにくいという来場者に考慮して、同じものを印刷・配布していました。令和4年度は、これを一切取りやめ、2次元コードを説明会の次第に貼り付け、個人端末から閲覧できるようにしました。部活動一覧及び事後アンケートもこれまでは用紙を配布していましたが、全て2次元コードにしました。ペーパーレス化社会に対応して、印刷にかかるコストを大幅に削減できたとともに、これまでアンケートの回答作業で発生していた混雑を緩和することができました。令和3年度には、約950組、令和4年度には、約830組に御来場いただきました。

### (4) 外部の学校説明会、出張授業及び合同学校説明会

学習塾等の主催する学校説明会・個別相談や、中学校から依頼された出張授業にも積極的に参加しています。授業後のアンケートによると、高校段階の学習内容に興味を抱いたり、本校への入学意欲を新たにしたりするなど、肯定的な回答が多く寄せられています。東京都教育委員会が主催する都立学校等合同説明会、及び城南地区学校説明会に参加しています。

### (5) ホームページの充実

学校の基本的な情報、学校案内パンフレット及び学校行事・部活動の取組など、ホームページで閲覧できるようにしています。学校説明会等の予約も受け付けることができるようになりました。

ホームページにアップロードする情報は何よりも見やすさが重要です。他校及び民間企業等の優れたホームページを参考にしながら、一目で分かるホームページづくりを目指しています。

年度によって変遷があるものの、上記の取組を進めることで、入学選抜における応募倍率は高水準を維持しています。右記の表では、過去10年の応募倍率を記しています。今後も、広報活動を充実させ、本校の価値を都民に積極的に伝え、中学生から憧れを抱かれる学校を目指していく所存です。

	男子		女子	
	推薦	学力	推薦	学力
平成24年度	3.15	2.33	4.46	2.41
平成25年度	3.39	1.99	5.14	2.35
平成26年度	3.10	2.10	5.36	2.55
平成27年度	3.54	2.38	5.50	2.39
平成28年度	2.23	1.83	4.04	2.20
平成29年度	2.83	1.91	3.93	2.08
平成30年度	3.77	2.09	6.00	2.30
平成31年度	2.27	1.91	4.08	2.01
令和2年度	2.81	1.88	5.00	2.42
令和3年度	4.85	2.07	7.50	2.99
令和4年度	2.81	1.86	4.50	2.26

表 過去10年の応募倍率

【資料編】 令和4年度 生徒概要

通 学 時 間

	1			2			3			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
15分未満	0	1	1	2	1	3	0	0	0	2	2	4
15分以上30分未満	6	2	8	6	5	11	5	5	10	17	12	29
30分以上45分未満	35	31	66	36	41	77	36	30	66	107	102	209
45分以上1時間未満	66	66	132	62	70	132	49	49	98	177	185	362
1時間以上	23	47	70	28	29	57	39	59	98	90	135	225
合 計	130	147	277	134	146	280	129	143	272	393	436	829

通 学 方 法 (徒歩のみ以外は複数回答)

	1			2			3			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
徒歩のみ	1	2	3	4	5	9	2	1	3	7	8	15
都バス	6	6	12	6	3	9	1	4	5	13	13	26
私バス	1	3	4	3	1	4	5	0	5	9	4	13
都営地下鉄	94	100	194	87	106	193	67	99	166	248	305	553
私鉄(東京メトロを含む)	42	49	91	42	42	84	51	74	125	135	165	300
JR	35	46	81	29	30	59	47	33	80	111	109	220
合 計	179	206	385	171	187	358	173	211	384	523	604	1127

居 住 地 域

	1			2			3			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
千代田区	0	3	3	1	0	1	0	0	0	1	3	4
中央区	2	2	4	5	5	10	3	3	6	10	10	20
港区	1	3	4	6	4	10	6	3	9	13	10	23
新宿区	3	0	3	3	3	6	3	2	5	9	5	14
文京区	1	3	4	2	4	6	1	2	3	4	9	13
台東区	3	6	9	2	1	3	2	3	5	7	10	17
墨田区	8	1	9	3	6	9	4	2	6	15	9	24
江東区	7	6	13	9	6	15	6	12	18	22	24	46
品川区	7	9	16	11	12	23	12	15	27	30	36	66
目黒区	4	7	11	8	2	10	6	5	11	18	14	32
大田区	37	23	60	31	28	59	35	21	56	103	72	175
世田谷区	10	9	19	9	10	19	9	6	15	28	25	53
渋谷区	0	3	3	4	1	5	1	2	3	5	6	11
中野区	2	2	4	2	5	7	1	1	2	5	8	13
杉並区	3	2	5	0	3	3	0	3	3	3	8	11
豊島区	1	0	1	1	0	1	0	1	1	2	1	3
北区	2	6	8	1	5	6	5	4	9	8	15	23
荒川区	4	2	6	4	3	7	3	3	6	11	8	19
板橋区	4	9	13	5	10	15	8	15	23	17	34	51
練馬区	4	4	8	5	3	8	4	4	8	13	11	24
足立区	7	18	25	11	9	20	6	6	12	24	33	57
葛飾区	5	6	11	4	7	11	4	5	9	13	18	31
江戸川区	12	19	31	5	17	22	8	19	27	25	55	80
多摩地区	3	3	6	2	2	4	1	6	7	6	11	17
その他	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	2
合 計	130	147	277	134	146	280	129	143	272	393	436	829

令和4年度大学等合格実績（令和5年度入学者選抜） 令和5年4月11日現在

●国公立大学		卒業年度（卒業生数）					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		進学	既卒	進学	既卒	進学	既卒
北海道	文系（総合入試）					1	
	水産						1 3
	理系（総合入試）					1	
北教大旭川校	教育					1	1
北教大札幌校	教育	1	1	1			
北教大函館校	教育					1	1
室蘭工業	理工	1	1				
東北	法					1	
	経済						1
	理						
	工			1			
宮城教育	教育					1	1
山形	医（医学）				1	1	
	人文化						
	生命環境	1	1				
	医（看護）	1	1				
筑波	理工					1	
	情報						
	総合文系				1		
埼玉	経済					1	1
	教育			1			
	教養					1	2
	理						
	工						
宇都宮	地域デザイン					1	1
	工						
千葉	文						
	法政経		1				
	教育	1	2				
	理					2	2
	工	1	1		1		
	園芸						
	看護				1		
お茶の水女子	文教育	1	1	1			
電気通信	情報理工	1	1	1	1	1	
東京	文一			1	1		
	文三					1	1
	理一						
東京外国語	言語文化	1	1	2	2	6	1
	国際社会	1	1		4	1	2
東京海洋	海洋工				1	2	1
	海洋生命科					1	2
東京学芸	教育	4	4	1	5	1	2
東京芸術	美術					6	6
東京工業	理学院(旧第1類)	1	1				1
	工学院(旧第4類)	1	1				1
	情報理工(旧第5類)			2			1
	生命理工(旧第7類)						2
東京農工	農				2	1	4
	工				1		2
一橋	法	1	1				1
	経済			1			
	社会						
	商						
横浜国立	都市科学						
	理工	3	3		1		5
	経済	1	1		2		6
	経営						
新潟	理					1	
	工						
	農						
	創生						
信州	人文						2
	経法					1	
	教育						2
	繊維						
	理						
	工						1
富山	薬					1	1
金沢	理系一括					1	1
京都	文	1	1	1			
大阪	外国語					1	1
神戸	医（看護）	1	1	1			
福井	工						
鳥取	医（医学）					1	1
高知	人文社会	1	1				
	農林海洋	1	1	2			
九州	経済					1	1
	工						
大分	医（医学）					1	1
琉球	農						1
国際教養	国際教養	1	1	1			
高崎経済	経済					1	1
群馬県立女子	文					1	1
千葉県立保健医療	健康科学部	1	1	1			
埼玉県立	保健医療	1	1	1	1		
	健康福祉	1	1			2	2
	経済経営	1	1				
	人文社会					1	
東京都立	都市教養						6
(旧首都大学東京)	都市環境	1	1				1
	法	2	2			2	2
	理						2
	システムデザイン	2	2				

●国公立大学		卒業年度（卒業生数）					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		進学	既卒	進学	既卒	進学	既卒
横浜市立	国際教養					1	
	国際総合						3
	国際都市					1	1
	データサイエンス					1	
京都府立医科	医（看護）	1	1	1			
大阪市立	医（医学）						1
市立山口東京理科	薬						1
国公立合計		36	40	7	47	33	12

●私立大学		卒業年度（卒業生数）					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		進学	既卒	進学	既卒	進学	既卒
早稲田	文	2	5			6	6
	文化構想	2	4			7	5
	国際教養	1				1	2
	教育（文系）	1	4			6	5
	教育（理系）					1	
	政治経済					1	1
	法	1	3			2	1
	商	3	3	6	35	4	2
	社会科学	1	1			7	2
	人間科学	4	5			6	4
	スポーツ科					1	
	創造理工	1	1				
	先進理工						
	基幹理工		2				
慶應義塾	法	3	3			1	2
	経済	1	2			2	3
	商	2	4			7	5
	文	4	4			5	4
	薬			6	26	2	1
	理工	1	1			3	1
	環境情報	1	1			1	
	総合政策	1	1			2	1
	看護医療	4	4			1	1
上智	文	1	8			7	3
	外国語	1	10			12	6
	総合人間科	2	6			2	4
	経済		4			7	6
	経営						
	法	4	4	4	40	4	1
	総合グローバル	2	3			2	1
	理工	1	1			3	1
	国際教養						
	神						
国際基督教	教養	1		1			
東京理科	理	1	2			5	4
	工					1	3
	創成理工（旧理工）	1	1			3	
	先進工	1	2	2	12	4	5
	経営	1	3			3	6
	薬	1	1				1
	理二部	1					
明治	経営	2	13			17	7
	商	5	16			5	5
	情報コミュニケ	5	16			10	1
	国際日本	2	7			4	3
	農	3	3	15	110	6	7
	文	5	11			13	11
	法	1	11			8	6
	政治経済	4	11			10	8
	総合数理					1	2
	理工	1	7			7	7
青山学院	経営	1	7			10	4
	経済	3	8			6	5
	法	1	3			6	4
	国際政治経済	2				5	4
	社会情報	1	1			2	2
	文	1	4	5	49	6	8
	教育人間	2	8			4	2
	地球社会	1				1	3
	コミュニティ人間	1	2				
	総合文化政策	1	6			3	2
	理工	2				9	1
立教	観光		6			10	2
	経営	3	6			6	2
	経済	1	14			16	5
	現代心理	2	5			2	1
	文	3	16	5	88	17	8
	興文化コミュニケ					1	5
	コミュニティ福祉	1	3			5	1
	社会	6	20			18	12
	法	9	9			4	9
	理	2	4			7	7
	経済	1	4			3	4
	総合政策					4	2
	国際経営	1	1			1	
中央	国際情報	2					
	文	3		5	39	6	7
	法	1	5			1	3
	商	1	6			4	1
	理工	2	13			15	9

●私立大学		卒業年度(卒業生数)					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		履修 進学	履修 既卒	履修 進学	履修 既卒	履修 進学	履修 既卒
法政	経営	4	19	12	10		
	経済	1	3	8	5		
	国際文化	1	2	3	4		
	人間環境	3		3	7		
	文	5		5	9		
	法	4		5	5		
	社会	2	8	4	5		
	現代福祉	2		1	2		
	グローバル教養	1	3	2	10	69	11
	情報科	2	3	1	1		
	生命科	1	7	3	3		
	デザイン工			2	1		
	キャリアデザイン	2		1	4		
	スポーツ健康				1		
	理工			9	1		
	通信教育部	1	1				
	生命環境	1	1		1		1
麻布	獣医	1	1				
亜細亜	経営	1					
	経済				2	1	4
	法			1			
跡見学園女子	都市創造	1			1		
	国際関係	2		1	1		
	文			2	2		
江戸川	心理	1			3		2
	観光コミュニケーション	1					
沖繩	メディア			1		1	
桜美林	ビジネスマネジ			1	2		
	リベラルアーツ	3		1			
	航空マネ	1		1	5		2
	グローバルコミュニケ						
	芸術文化			2			
大妻女子	健康福祉						
	社会情報			1	1		
	家政			2	1		
	比較文化				6		3
	文	4		2	1		
学習院	人間関係	1		1			
	文	1	4	8	10		
	経済	2	5	5	3		
	法	1	4	1	3	26	5
学習院女子	国際社会	2		9	3		
	理	2		2	2		
神奈川	国際文化交流	3		2	2	4	4
	理	1			2		
	人間科学						
	外国語			1			
	国際日本	2		3	2	12	
	工						
	建築			1			
神奈川工科	法						
	経営	1		1			
	経済	1		4	1		
鎌倉女子	健康医療				1		1
	情報						
川村学園女子	教育			1	6		
	児童			5			
関西	文			4	4		
	教育			1	1		
関西学院	法	1	2	1	1		
	文			2			
	社会						
	商				3		
	人間福祉						
	教育						
神田外語	理工						
	外国語			5	5	2	2
	栄養						
関東学院	建築・環境学部						
	経済	1		2	3		
	経営	2					
	理工			1			
北里	法						
	海洋生命	2					
	薬			1			
	医学						
	医療衛生	1	1	1	5	1	2
	看護	3					
	獣医			2			
共立女子	理	1		1			
	芸術	1		1			
	児童						
	被服						
	ビジネス						
	文芸			1	1	3	1
	家政	1		1			
成蹊	建築デザ	1					
	国際	1					
	看護	1					
	看護	1					

●私立大学		卒業年度(卒業生数)					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		履修 進学	履修 既卒	履修 進学	履修 既卒	履修 進学	履修 既卒
杏林	保健(看護)		14		5		1
	保健(作業療法)						
	保健(理学療法)						
	保健(臨床検査技術)					1	1
	保健(救急救命)			1	15	7	1
	保健(臨床心理)					1	
	保健(健康福祉)						1
	総合政策						2
	外国語						1
	国際						
近畿	経営						2
	農						2
恵泉女学園	人間社会	1		1			
工学院	音楽				1	1	1
	先進工学				2	2	
	情報	2	3		1		
	建築	1		5	11	5	1
	工	2					3
甲南	機械工						
	電気シス工						
國學院	文	2	9		8		8
	経済				5		1
	法	1	3		2		5
	人間開発	1	10	29	6	25	3
	神道文化						1
国際医療福祉	観光まち	2			4		
	医						
	成田看護						
	成田保健						2
	福岡保健				1	2	
国士館	小田原保						
	保健医療						
	赤坂心理				1		
	文	1			2		1
	21世紀						2
駒澤	法				4		3
	政治経済			3	2	12	1
	経営				2		
	理工	1	2		1		
	体育				1		
駒沢女子	グローバルメディア				1		8
	経営			2	3		2
	法	1	3		4		1
	経済	5	2	18	5	23	5
	文	6			10		7
産業能率	仏教						2
	医療健康						
	人文						1
実践女子	人間健康						2
	人間総合						1
	経営			1	3	1	3
芝浦工業	情報マネジメント			1	2	6	
	生活科学				1		
淑徳	文				1	3	1
	人間社会				1		1
	エ			14	11		9
順天堂	システム理工	1	2	5	2	4	6
	デザイン工				6		8
	建築						2
城西	人文			2	1	1	
	医(医)						1
	医療看護	1	8		2		2
	国際教養				2		1
	保健医療			11	4	10	
湘南医療	保健看護	1	1		1		
	医療科学						
	スポーツ健康				1		
昭和	健康データ	2					
	理						1
	薬				1		
昭和女子	保健医療(看護)			2			2
	人間社会	2	4		4		7
	人間文化				1		
	環境デザイン	1	2		1		
	グローバルビジネス	4		12	1	13	
白百合女子	食料健康科	1	1		1		1
	生活科学						
	国際	1			5		3
聖学院	国際				2	2	1
	文				1		
成蹊	人間総合				1		
	経済				3		3
	経営	4		2	1		3
	法	1		11	3	15	2
成蹊	文				4		2
	理工	1	3		4		3
	理工	1	3		4		3

●私立大学		卒業年度(卒業生数)							
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)			
		履修 進学	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	計	計
成城	経済	7		4		4			
	法	2		2		2			
	社会イノベー	1		6	1	14		2	13
	文芸	2	7	1		4			
清泉女子	文			2	2	7		7	
西南学院大学	経済	1							
	人間科学	4							
聖路加国際	看護	1		3	3	2		2	
	看護	1							
専修	経営	1				3			
	経済	1		2		4			
	商	1	2	1		3			
	法	1		3		2			
	人間科学	4		2		3			
	ネットワーク情報	2							
	国際コミュニケ	1	2	4		1			
	文	3		6		2			
洗足学園音楽	音楽			1		1			
	教育								
創価	文			1					
	法					1			
	経済					3			
	国際教養					2			
大正	人間					1			
	表現								
	地域創生					4			
	社会共生			1		1			
	心理社会			1		1			
	文	3		2					
大東文化	文	2		1		5			
	経済								
	経営								
	国際関係		1	5	2	3	1	1	8
	社会	1					1		
	スポーツ健康								
拓殖	政経								
	商			1		1			
玉川	教育	2		2		3			
	文								
	リベラルアーツ								
	観光	1				2			
	芸術								
	工	1					5		
多摩美術	美術	1	2	1	3	4	4	2	2
	危機管理							1	1
千葉工業	工	8		1					
	社会システム			1					
	情報科学	1	3	14	2	3	12	1	5
	創造工					5		1	
	先進工	2						2	
千葉商科	国際教養							1	2
	商経								
	人間社会								
津田塾	学芸	1	2	3		12		1	2
	情報科								
	総合政策	1	1			1		13	
帝京	経済	1				5		2	
	文					1		2	
	外国語							1	
	教育					1	13	2	13
	医療技術	4				6		3	
	薬							2	
帝京科学	法								
	医療科学	1	3	3					
帝京平成	健康メディカル								
	健康医療								
	ヒューマンケア	3		3		1	1		2
	現代ライフ								
チンブル大帯ジャパン	薬							2	
東海	法								
	政治経済								
	経営	2				2			
	文	1						1	
	文化社会	1	2					1	
	国際					1			
	教養	1							
	理	2							
	生物								
	理工								
	体育								
	観光	1							
	健康								2
	情報通信							1	
	情報理工							1	
	農								4
	工								1
	海洋	4							
東京有明医療大	看護					1	1		
東京医科	医(医学)		1	4		4	4		
	医(看護)	3							

●私立大学		卒業年度(卒業生数)							
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)			
		履修 進学	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	履修 既卒	計	計
東京医療保健	医療保健(看護)	1	2			2			
	東が丘					1			
	立川看護					2		5	
	千葉看護					2			
東京家政	家政(栄養)	1	1			4		2	
	家政(児童)					4		6	
	家政(造形表現)							1	
	家政(服飾美術)								
	児童					1		10	13
	子ども実習(旧子ども)					1		2	
東京家政学院	人文					1		2	
	健康科学					1			
	現代生活								
	経営								
東京経済	経済							2	
	経営								
	コミュニケーション								
東京経済	経済								
	経営								
	コミュニケーション								
東京工科	現代法					1			
	応用生物					3			
	コンピュータサイエンス					3		1	
	医療保健(看護)					5		9	1
東京工芸	メディア					1			
	E								
東京工芸	アニメーション					1		2	
	芸術								
東京歯科	歯					1		1	1
	歯								
東京慈恵会医科	医(看護)					1		1	1
	医(医学)								
東京女子	現代教養					12	22	22	9
	看護					2	2	1	1
東京女子医科	看護					1	1		
東京女子体育	体育					1	1	2	
東京造形	造形					1	1	2	
	工								
	工					1	5	2	
	工								
東京電機	情報環境								
	理工					1	2	14	7
	未来科学					1	2		4
	システムデザイン					4	4		1
	環境								
	環境								
東京都市	情報工					1	2	3	
	知識工								
	理工					1	1	3	2
	都市生活					1	1	8	2
	建築都市					1	2		1
	人間科学								4
	メディア情報					1	1		1
	環境								1
	環境								
	環境								
東京農業	応用生物科					3		11	7
	国際食料情報							1	
	地域環境科					1		6	9
	農					3		5	3
	生物産業					2			2
	生命科学					1	1	7	
東京福祉	教育								
	社会福祉								1
東京未来	こども心							3	3
東京薬科	薬							1	1
	生命科学								5
同志社	文								
	法								
同志社女子	社会								1
	スポーツ								
東邦	学芸								
	看護								
	看護								
	理								
東洋	健康科学								
	国際								
	国際観光								
	社会								
	文								
	法								
	経済								
	経営								
	食環境科								
	総合情報								
	情報連携								
	ライフデザイン								
	福祉社会								
	生命科学								
東洋英和女学院	健康スポーツ								
	理工								
東洋学園	国際社会								
	人間科学								

●私立大学		卒業年度(卒業生数)					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
獨協	外国語	4		5		2	
	法	1		1		1	
	経済	1	1	6	11	6	3
	国際教養	3		2		1	1
南山	法			1		1	1
二松学舎	文			1	1		
日本	国際政経			1			
	国際関係			1			
	経済	1	12	12		5	
	芸術	2	2	1			
	商		6	3		6	
	生産工		6	2		2	
	文理	1	15	8		17	
	法	4	4	2	10	5	15
	生物資源	1	5	4		4	
	理工		8	11		7	
	工		2	1		1	
	薬	1	3	1		1	
	危機管理						
スポーツ							
先進工	1						
日本工業	工			1	1		
建築				1			
日本獣医生命科学	応用生命 獣医			2	2	4	1
日本女子	文	4		1		2	
	家政	3	5	2	7	1	11
日本赤十字看護	人間社会	1	7	2		1	
	理			2		4	
日本体育	看護	1	3	5	5	4	4
	さいたま看護	1					
	体育					1	
日本保健医療	スポーツ文化						1
	スポーツマネジ						
	児童スポーツ教育						
日本薬科	保健医療 薬					1	1
フェリス女学院	文			1		1	1
文教	国際交流					1	
	教育	1	7	1		2	
	文						
	国際				1		3
	健康栄養						
	人間科						
文京学院	情報					1	
	経営						
	人間	2		1	1	2	2
星薬科	保健医療 薬	1	1	5	5	1	1
武蔵	社会	2		4		4	
	人文	1	4	1	12	4	3
	経済	4		5		2	
	国際教養	1		2		1	
武蔵野	教育			4		4	
	文			1		1	
	看護		7	2		3	
	人間科学			5		1	
	データサ			2		1	
	工				1	5	17
	薬	1					
	経営	1	3			2	
	経済						
	法	1					
グローバル			5				
武蔵野音楽	音楽			1	1		
武蔵野美術	造形	1	2	3			
	造形構想	1	1	4	1	4	2
明海	美術						
ホスピタ						1	1
明治学院	経済	1	18	10		5	
	国際		3	7		5	
	社会	1	6	8		8	
	文	1	3	2	1	2	2
	経営						
	心理	1	5	5		5	
明治薬科	法	1	5	6		4	
	国際経営						
明星	薬			1	1	2	2
	教育			3		1	
	人文			1			
	心理					1	
	経済					1	
	理工			4			3
	情報			1			
目白	建築			1			
	人間			2			
	心理	1					
	社会			1		1	
	外国語					5	
メディア					2		
経営	1		2		1		
横浜薬科	薬					1	1

●私立大学		卒業年度(卒業生数)					
大学	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
立正	地球環境						
	社会福祉						
	文	4		5	1	1	4
	経済						1
	経営						1
立命館	心理	1	1				
	産業社会					2	
	文						
	経済						
	経営						
	食マネジ			2		3	2
	法				1		
	理工						
	国際関係	1	2				
	政策科学						
立命館アジア太平洋	総合心理						
	サステナビリティ アジア太平洋	1	7	7			4
龍谷	文					1	
	法			1	1		1
	経済						
<b>私立大学計</b>		<b>109</b>	<b>1005</b>	<b>113</b>	<b>1118</b>	<b>1100</b>	<b>79</b>
						<b>1179</b>	<b>844</b>
						<b>156</b>	<b>1000</b>

文科省所管外学校		卒業年度(卒業生数)					
学校	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
国立看護大学校	看護	1	1	2	1	3	3
水産大学校	海洋生産管理 生物生産	1	2	2			1
防衛大学校	理工	1	1	1			
防衛医科大学校	医学 看護	1	1	1			
海上保安大学校		1	1	1			
航空保安大学校		1	1	1			
海上保安学校	管制	1	1				
<b>大学校計</b>		<b>3</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
						<b>3</b>	<b>1</b>
						<b>4</b>	

短期大学		卒業年度(卒業生数)					
学校	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
共立女子大学短期大学部						1	1
湘北短期大学				1		1	
日本大学短期大学部						1	1
山野美容芸術短期大学部		1	1	1			
<b>短期大学合計</b>		<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
						<b>2</b>	<b>2</b>

専門職大学		卒業年度(卒業生数)					
学校	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
国際ファッション専門職				1		1	
<b>専門職大学合計</b>				<b>1</b>	<b>1</b>		

専門学校等		卒業年度(卒業生数)					
学校	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
東京都立広尾看護専門学校				1		1	
佐渡看護専門学校						1	1
大原簿記学校				1		1	
東京観光専門学校		1	1	1			
東京動物専門学校						1	1
東京モード学園				1		1	
ハリウッド美容専門学校						1	1
文化服装学院						1	1
山野美容専門学校						1	1
NIC International College in Japan				1		1	
<b>専門学校等合計</b>		<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>5</b>
						<b>5</b>	<b>5</b>

就職 その他		進路	
学校	学部	現役 進学	既卒 計
東京都交通局		1	1
(株)コミュニケーションズ7ゲエニュー		1	1
(株)日本ユニテック		1	
<b>就職合計</b>		<b>2</b>	<b>3</b>

●海外		卒業年度(卒業生数)					
海外(大学等)	学部	R4年度(271)		R3年度(281)		R2年度(272)	
		現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計	現役 進学	既卒 計
Brian Young University	Tourism Management			1		1	
Monash University	Arts and Social Science					1	1
Simon Fraser University	Faculty of Science					1	1
Monash Polytechnic University	School of Business					1	1
Langara College	Program of Science					1	1
Langara College	Program of Arts and Science					1	1
University of Central Oklahoma	College of Fine Arts and Design						
Boston University	International Relations						
CUNY Baruch	Finance						
Mount Allison University							
Thompson Rivers University							
EL Camino College	(留學予定)	1	1	1			
University of east Anglia				1	1		
University of Essex				1	1		
University of Birmingham				1	1		
University of Portsmouth				1	1		
<b>海外合計</b>		<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>5</b>

# 図書館概況

令和5年4月1日現在

面積 264 m<sup>2</sup>

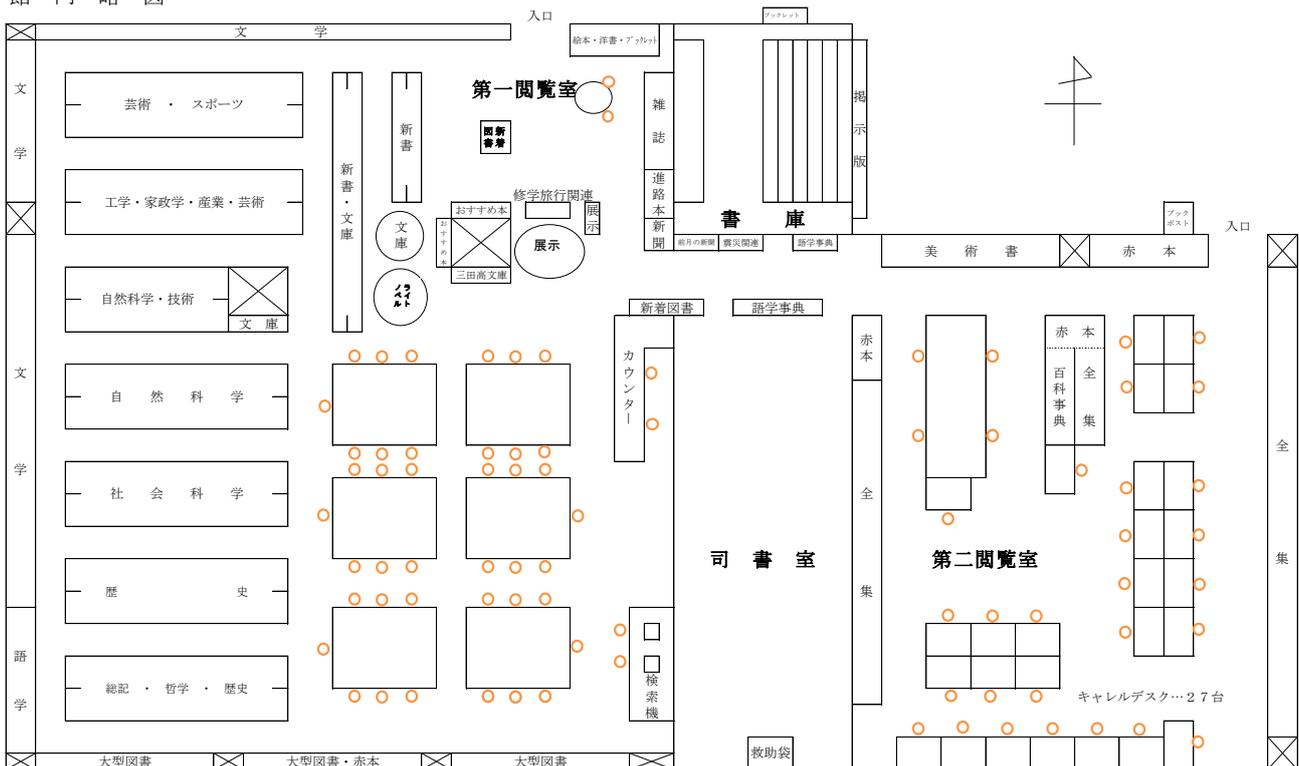
収容人数 70名

開架式

蔵書数

総記	1,365	社会科学	4,444	産業	532	文学	11,732
宗教・哲学	1,518	自然科学	3,298	芸術	3,382	計	34,112
歴史・地理	4,368	工学	1,548	語学	1,925	CD-ROM	31

館内略図



第一閲覧室 . . . . . 一般図書、大型図書、新聞、雑誌

書庫 . . . . . 古書、貴重本

第二閲覧室 . . . . . 百科事典、全集、美術書、赤本

## 施設一覽

敷地面積	12,220	m <sup>2</sup>
内訳	10,084	m <sup>2</sup> (大正12年)
	2,136	m <sup>2</sup> (昭和2年3月31日)
運動場面積	4,599	m <sup>2</sup>
建物延面積	13,998	m <sup>2</sup>
建物敷地面積	7,621	m <sup>2</sup>

単位：m<sup>2</sup>

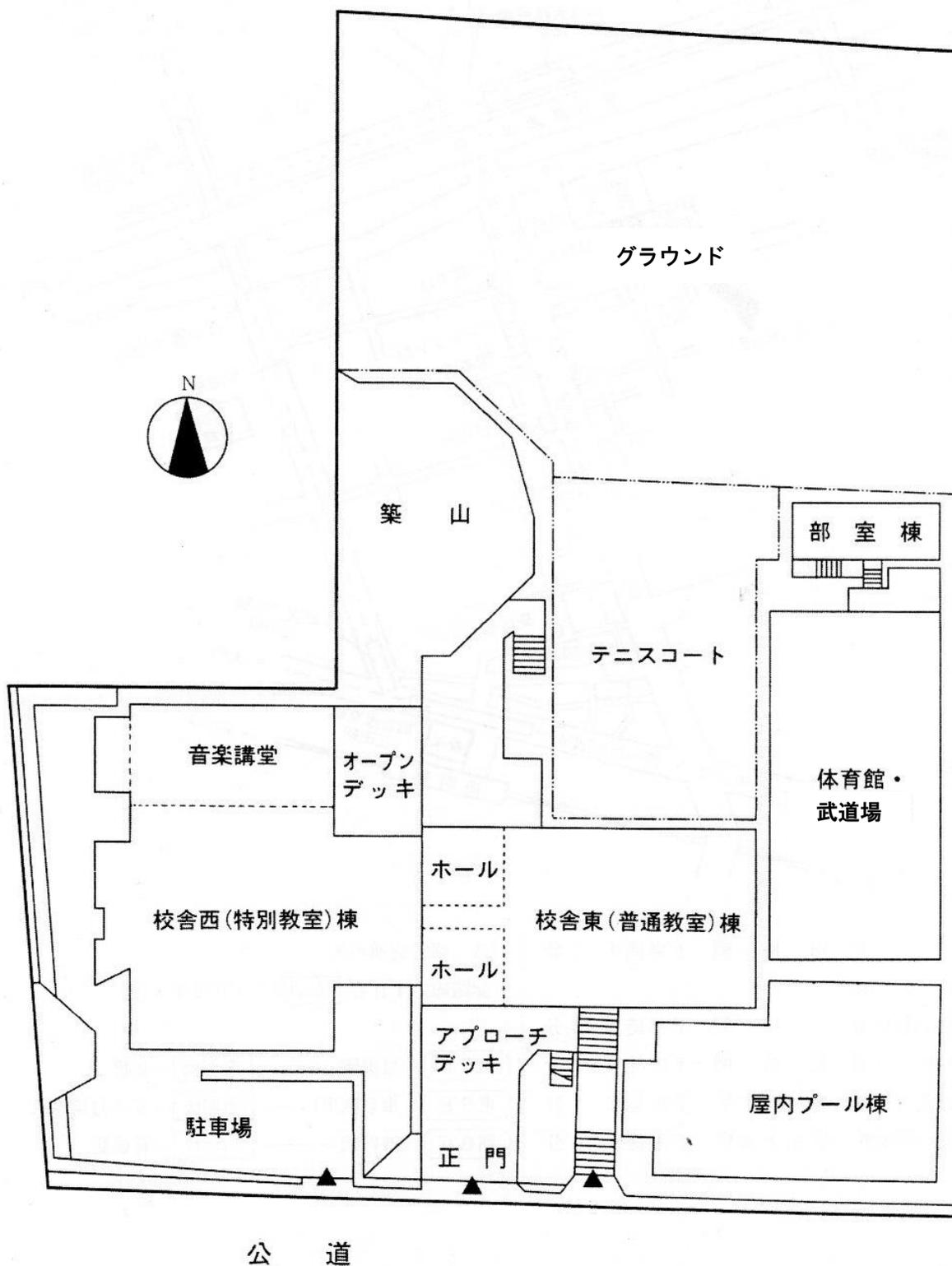
階	棟	校舎棟	体育館・武道場棟	プール棟	部室	計
塔屋		126				126
6階		1,734				1,734
5階		1,734				1,734
4階		1,734				1,734
3階		1,734			137	1,871
2階		2,092	875	132	133	3,232
中2階				126		126
1階		613	880	779	96	2,368
ピロティ		983				983
地下1階				90		90
小計(ピロティ除)		9,767	1,755	1,127	366	13,015
計		10,750	1,755	1,127	366	13,998

※面積は、小数点以下四捨五入

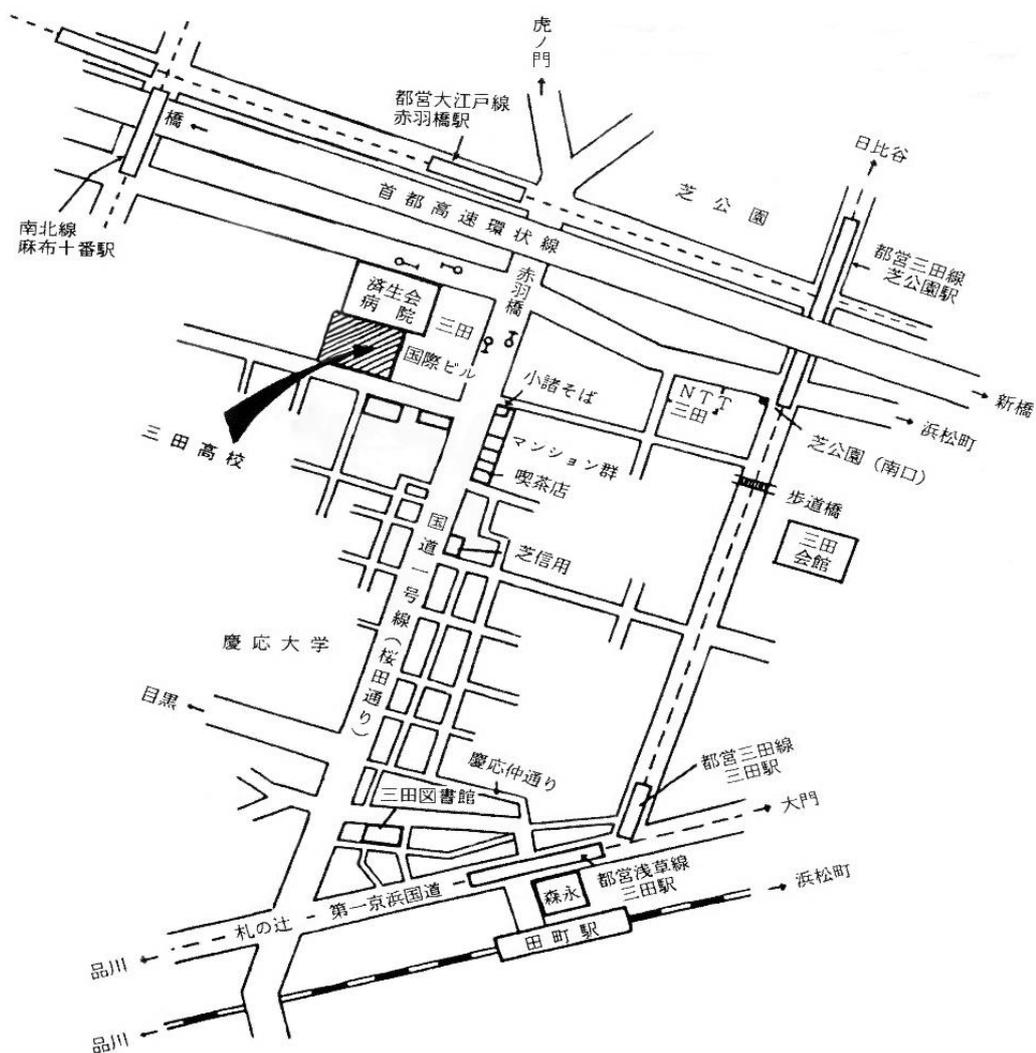
### 教室数

種別	項目	数	内訳
普通教室		22	1学年8教室、2学年7教室、3学年7教室
選択教室		6	東棟講義室、第一講義室、第二講義室、第三講義室
特別教室		15	物理、化学、生物、地学、社会、PCLL教室、音楽、美術、調理、被服、図書、第二閲覧、生徒会、教育(帰国)相談、進路
管理室		12	校長室、応接室、経営企画室、用務室、全職員室、第二職員室、体育教官室、食堂、保健室、休養室、放送室、生徒相談室

# 学校平面図



# 学校案内図



- ・ JR 田町駅 下車徒歩15分
- ・ 地下鉄
- 都営浅草線 三田駅 下車徒歩15分
- 都営三田線 芝公園駅 下車徒歩7分
- 都営大江戸線 赤羽橋駅 下車徒歩5分
- 東京メトロ南北線 麻布十番駅 下車徒歩10分

- ・ バス
- 下記路線いずれも赤羽橋駅前 下車徒歩5分
- 都営 都06 渋谷駅前—赤羽橋駅前—新橋駅前
- 都営 橋86 目黒駅前—赤羽橋駅前—新橋駅前
- 東急 東98 等々力操車場—赤羽橋駅前—東京駅南口

## 所在地

〒108-0073 東京都港区三田一丁目4番46号

電話 (03) 3453-1991 (代)

FAX (03) 3453-2899

ホームページ <https://www.metro.ed.jp/mita-h/>

在籍教職員一覧（平成25年度から令和5年度まで）

	氏名 / 平成・令和	24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
校長	及川 良一（第20代）												
	笹 のぶえ（第21代）												
	三保 和彦（第22代）												
	原田 能成（第23代）												
	内田 隆志（第24代）												
副校長	降幡 高志												
	奥谷 雅之												
	高野 祥一												
	澁谷 徹												
	東 達康												
	神津 良雄（副校長補佐）												
	安倍 恵子（副校長支援）												
	藤井 英一（副校長補佐）												
国語	岸 祐次												
	山口 博士（非常勤）												
	鈴木 雅之												
	川口 泰之												
	池上 正子												
	後藤 啓子												
	柳原 美希												
	雨海 利行												
	小林 優子												
	田原 桜子												
	五関 紀子												
	大友 尚												
	堀口 良恵												
	大平 有紀												
	久保田 有里子												
	鈴木 民子												
	越智 薫（非常勤）												
	半澤 まゆみ（臨任）												
	奥井 航（臨任）												
	神林 玉青												
	野村 祐希												
	入江 みどり												
	菊山 あずさ												
鈴木 玲奈													

	氏名 / 平成・令和	24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
地理歴史	鈴木 法仁												
	福田 修一												
	西 智之												
	倉澤 俊仁												
	土屋 伸也												
	川上 園子 (非常勤)												
	粕谷 栄一郎												
	天明 耕一												
	川口 直弘												
	矢吹 健治 (非常勤)												
	野付 将貴												
	平田 正樹												
	三輪 勇佑												
	大野 豊司												
	尾上 雄輝												
江下 晋介													
公民	大澤 隆												
	篠本 隆康												
	浅沼 一弘												
数学	奥原 靖彦												
	小笠原 経述												
	佐々木 正敏												
	山下 詩織 (二田)												
	越部 良一 (非常勤)												
	神山 泰一												
	小林 裕次												
	岩崎 泰夫												
	坂本 良一 (非常勤)												
	佐藤 浩平												
	川原 夏葉子 (西崎)												
	松下 のり子												
	伊藤 重信												
	大波 陽平												
	木村 保彦 (非常勤)												
近江 慎二													
高畠 美雪													
荻原 早苗 (非常勤)													

氏名 / 平成・令和		24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
数 学	大内 豪												
	坂田 研												
	緒方 弘治												
	田村 碧												
	菊谷 和正												
理 科	岡本 正有												
	佐藤 義文												
	宮村 博 (非常勤)												
	平山 美知子												
	前島 緑												
	田村 尚志												
	上野 精一												
	中條 敏明 (非常勤)												
	飯田 真理子												
	成井 隆友 (臨任)												
	土井 丈												
	平野 美佐枝 (臨任)												
	田中 恵子												
	新林 圭												
	岡田 慶吉 (臨任)												
	田中 遼												
	寺島 敏也												
	岡戸 靖一												
	井上 雄介												
	嶺 直利												
山田 和弥 (実習助手)													
高橋 司 (実習助手)													
伊藤 靖明 (実習助手)													
八坂 真紀子 (実習助手)													
保 健 体 育	黒澤 達郎												
	山元 和三												
	横山 まゆみ												
	大羽 絹枝 (非常勤)												
	紺野 正紀												
	博田 勝志												
	浅倉 広男 (非常勤)												
宇野 一茂													

氏名 / 平成・令和		24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
保健 体育	栞原 信一郎												
	福田 智子												
	小嶋 信太郎												
	佐藤 貴文												
	押野 由香												
	加藤 景子												
芸術	仲田 賀一												
	中村 華英												
	井上 雅文												
外国語	山下 次郎												
	猪原 令子												
	秋山 英恵												
	金子 正勝												
	東 祥三												
	藤村 由夏												
	関口 美佐緒												
	上岡 健太												
	桑波田 理恵												
	佐藤 実												
	永峰 寿子												
	吉見 浩子												
	相星 智広 (臨任)												
	井上 裕徳												
	大坂 恵理奈												
	鈴木 理恵												
	濱名 万里江 (臨任)												
	武田 祐美子 (臨任)												
	浅井 藍												
	高橋 央												
	江口 千鶴												
	加藤 春樹												
	山内 理央												
	最上谷 明信												
広瀬 克己													
平野 靖子													
三好 久美子 (非常勤)													
高橋 志帆													

	氏名 / 平成・令和	24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
外国語	廣田 晴信												
	大口 理奈												
	櫛野 千織												
	三輪 涼子												
	ドーラン美樹												
	増山 裕一												
	宮腰 果林												
家庭	吉田 貴子												
	齋藤 孝子												
	佐々木 利枝 (臨任,非常勤)												
	湯澤 十史子												
情報	神能 佳子												
	河合 和美												
	加藤 高明												
	小泉 佳弘												
養護	比賀 眞由美												
	市村 晴子												
	牧本 あゆみ												
	鈴木 陽花 (臨任)												
	関口 麻里												
図書	金田 章子												
	田中 真弓												
経営企画室	村田 幸子 (室長)												
	佐々木 郁枝 (室長)												
	山本 史郎 (室長)												
	前田 万貴子 (室長)												
	浦川 健太郎												
	今西 研二												
	五十嵐 麻子												
	大江 身江子												
	吉田 英智												
	石川 誠也												
	田山 洋輝												
	駒崎 靖史												
	富岡 栞里												
	金坂 靖晃												
井上 実穂													

	氏名 / 平成・令和	24以前	25	26	27	28	29	30	31/元	2	3	4	5
経営企画室	菅野 万紀子												
	矢幡 幸貴												

平成 25 年度に在籍した教職員で、「24 以前」の欄にも網掛けがかかっている場合には、在籍が平成 24 年度以前からであることを示している。

卒業生数推移 (1) 昭和3年から昭和24年まで

東京府立第六高等女学校・東京都立第六高等女学校

卒業年(元号)	西暦	回	卒業生数	累計
昭和 3年	1928	1	208	208
4年	1929	2	224	432
5年	1930	3	233	665
6年	1931	4	229	894
7年	1932	5	236	1,130
8年	1933	6	236	1,366
9年	1934	7	237	1,603
10年	1935	8	234	1,837
11年	1936	9	238	2,075
12年	1937	10	238	2,313
13年	1938	11	239	2,552
14年	1939	12	240	2,792
15年	1940	13	239	3,031
16年	1941	14	238	3,269
17年	1942	15	242	3,511
18年	1943	16	243	3,754
19年	1944	17	243	3,997
20年	1945	18	190	4,187
20年	1945	19	235	4,422
21年	1946	20	130	4,552
22年	1947	21	80	4,632
23年	1948	22	198	4,830
24年	1949	23	268	5,098

卒業生数推移 (2) 昭和24年から昭和63年まで

東京都立第六女子高等学校・東京都立三田高等学校 (全日制)

卒業年(元号)	西暦	回	男子	女子	卒業生数	累計	学級数
昭和 24年	1949	1		66	66	66	
25年	1950	2		193	193	259	
26年	1951	3		343	343	602	
27年	1952	4		351	351	953	
28年	1953	5	86	241	327	1,280	
29年	1954	6	96	260	356	1,636	
30年	1955	7	91	252	343	1,979	
31年	1956	8	91	255	346	2,325	
32年	1957	9	83	252	335	2,660	
33年	1958	10	89	252	341	3,001	
34年	1959	11	100	241	341	3,342	
35年	1960	12	88	256	344	3,686	
36年	1961	13	95	250	345	4,031	
37年	1962	14	85	265	350	4,381	
38年	1963	15	78	268	346	4,727	
39年	1964	16	76	259	335	5,062	7
40年	1965	17	97	251	348	5,410	7
41年	1966	18	132	263	395	5,805	7
42年	1967	19	89	260	349	6,154	7
43年	1968	20	83	265	348	6,502	7
44年	1969	21	87	258	345	6,847	7
45年	1970	22	92	245	337	7,184	7
46年	1971	23	106	227	333	7,517	7
47年	1972	24	113	221	334	7,851	7
48年	1973	25	142	200	342	8,193	7
49年	1974	26	141	193	334	8,527	7
50年	1975	27	145	169	314	8,841	7
51年	1976	28	159	156	315	9,156	7
52年	1977	29	151	164	315	9,471	7
53年	1978	30	154	167	321	9,792	7
54年	1979	31	146	166	312	10,104	7
55年	1980	32	176	184	360	10,464	8
56年	1981	33	167	191	358	10,822	8
57年	1982	34	159	189	348	11,170	8
58年	1983	35	179	191	370	11,540	8
59年	1984	36	170	204	374	11,914	8
60年	1985	37	173	189	362	12,276	8
61年	1986	38	179	197	376	12,652	8
62年	1987	39	179	203	382	13,034	8
63年	1988	40	187	188	375	13,409	8

卒業生数推移 (3) 平成元年から令和4年まで

東京都立三田高等学校 (全日制)

卒業年(元号)	西暦	回	男子	女子	卒業生数	累計	学級数
平成 元年	1989	41	179	215	394	13,803	8
2年	1990	42	171	210	381	14,184	8
3年	1991	43	180	196	376	14,560	8
4年	1992	44	181	194	375	14,935	8
5年	1993	45	174	182	356	15,291	8
6年	1994	46	188	169	357	15,648	8
7年	1995	47	186	171	357	16,005	8
8年	1996	48	185	154	339	16,344	8
9年	1997	49	152	163	315	16,659	8
10年	1998	50	158	141	299	16,958	7
11年	1999	51	158	127	285	17,243	7
12年	2000	52	141	140	281	17,524	7
13年	2001	53	152	130	282	17,806	7
14年	2002	54	134	144	278	18,084	7
15年	2003	55	142	135	277	18,361	7
16年	2004	56	128	146	274	18,635	7
17年	2005	57	133	143	276	18,911	7
18年	2006	58	137	129	266	19,177	7
19年	2007	59	140	137	277	19,454	7
20年	2008	60	129	141	270	19,724	7
21年	2009	61	125	143	268	19,992	7
22年	2010	62	136	148	284	20,276	7
23年	2011	63	126	141	267	20,543	7
24年	2012	64	131	143	274	20,817	7
25年	2013	65	156	160	316	21,133	8
26年	2014	66	126	144	270	21,403	7
27年	2015	67	136	139	275	21,678	7
28年	2016	68	156	151	307	21,985	8
29年	2017	69	167	147	314	22,299	8
30年	2018	70	136	140	276	22,575	7
31年	2019	71	165	152	317	22,892	8
令和 2年	2020	72	158	151	309	23,201	8
3年	2021	73	127	145	272	23,473	7
4年	2022	74	134	147	281	23,754	7
5年	2023	75	129	142	271	24,025	7

- 1 卒業証書授与台帳より作成した。
- 2 学級数は、卒業証書授与台帳に記載がある数字のみ掲載した。
- 3 昭和20(1945)年は、卒業式を2回挙行した。

## コラム

### 丸山丈作初代校長の教育実践から引き出せること

大正 12（1923）年と令和 5（2023）年の三田高校

本校に赴任してからというもの、初代校長の丸山丈作先生について深く知る機会がなく時間だけが経ってしまいました。ショー・ケースに「丸山先生」という胸像が遺されていること、応接室に肖像が掲げられていること、同窓会が運用している奨学金に名を冠していること程度しか知りませんでした。

先日、同窓会事務局を訪ねたところ、「東京府立第六高等女学校」という題名のインタビュー記事（暮しの手帖 第 1 世紀 77 号、1964 年）を読みました。「……そういえば、あの学校の校長になったのは大正 12 年ですから、40 年ももっと前のことになりますね。」という冒頭の発言から、昭和 38（1963）年以前に取材を受けたこととなります。記事は 18 ページにも及ぶ大部でしたが、一読してその語り口に魅了されました。

江戸っ子のような歯切れの良さと言えよいのでしょうか、もちろん記事は活字であり、字面を追っているに過ぎないけれども、寄席で江戸の噺家がしゃべっているような臨場感を抱きました。漱石の『坊っちゃん』は、中学教師のおれがべらんめえ口調で松山での教員体験を語る好編ですが、おれがそのまま教職を続け、やがて教育的見識を培い、校長になったらこうなるのかしらと想像しながら記事を読み進めました。

本稿では、丸山先生がどのようなことを重視したのか、私なりに読み取ってその要点を明記します。

#### （1）保健・体育の重視

記事から保健・体育を重視していたことが分かります。体育（当時は「体操」）の教員の定員を増やしたり、地位を向上させたりしました。当時は、体育の教科書は存在しませんでした。学校で授業する以上、教科書が必要だからと自主的に編纂しました。丸山先生が体育理論を担当、体育の教員が手分けして、実技及びエピソードを執筆しました。

「通信簿」を作成しないかわりに、「体育簿」を作成して生徒の健康を把握、校医と連携して、健康状態が心配な生徒がいると保健室（当時は「医務室」）に行かせました。歯科検診も年に 2 度実施し、治療が必要であれば授業よりも優先させました。

丸山先生は、「草根木皮はこれ小葉、飲食衣服はこれ大葉、薬源はこれ治心修身なり」という江戸漢文の言葉を大切にしていました（正しくは、「小葉は是れ草根木皮、大葉は是れ飲食衣服」である）。この考えは、疾病を抱えてから医療を施すのではなく、疾病にならないよう予防することに努める今日の医療思想の先取りと言えるでしょう。震災の教訓を受けて、40 キロメートルを目標に歩く遠足（「適応遠足」と称した）を取り入れたり、予算がかさむことを覚悟で室内プールを設置したりしたのも、心身の発達は身体づくりを基本とする明確な理念が本校の屋台骨となっていたからに他なりません。

## (2) 学習過程の重視

丸山先生は、定期考査（記事では「定期試験」）を設けませんでした。その代わりに、日々の授業で学習評価することを重視しました。「毎日教えているこどもが、どれだけ勉強ができたかを知るのに、たった1回の試験できめてしまうというのは、どうも賛成できないのです。」という。たしかに、生徒によっては継続して取り組んだ学習の成果を試験の出来で評価できないこともある、というのは現場の教員として実感できるでしょう。

とは言っても、定期考査を実施しないと学習しなくなってしまうのではないかという疑義に対し、「むしろ、勉強しすぎてこまったくらいです。」とした上で、以下のように続けました。

——それはそうかもしれませんが、1学期に1回の試験なら、ふだんは遊んでいてもすむかもしれませんが、しょっちゅういままでやったことを試されるんですから、それにはもう試験勉強などいうものはまに合いません。毎日の授業をしっかり受けるという以外にはないわけです。

定期考査は、年間の定められた期間に実施されます。そこで良い得点が獲得できれば、高い評価が得られる。要領の良い生徒ならば一夜漬けで何とかしてしまうでしょう。丸山先生は、上記の発言から、一夜漬けの知識ではなく、日々の授業においてどれぐらい取り組んだかという学習の過程そのものを問うていることになります。

では、どのように学習を評価していたのでしょうか。「ある先生は、授業のうち10分か15分をさいて、今日教えたことを書きなさい、というやり方の人もあるし、人によっては、何日かまとめて、いままでやったことをしらべる、という試験をしていた人もあったようです。」と述べるように、教員を信頼し評価方法を任せました。

さらに、評価そのものは必要であっても、詳細に点数化しなくてよいと付け加えています。なぜか。丸山先生は10点満点の評価をつけることを例にして、以下のように述べました。

——その基準はなんだということですね、答案ができてなければ0点、ぜんぶできておれば10点、ということでしょうけれども、しかし学力をはかるのに、全然なにもできないこどもというのは一人もいないんです。

そうすると、0点というのは意味がない。また10点のほうにしても、ほんとうはもっとそれよりできる子がある、11点にも、15点にも、20点にもつけなければならん子もいる。そうかとおもうと、やっと10点の子もいる。それがぜんぶ10点というのも、おかしな話だし、あるいは9点と10点とでは、学力でどこがどれぐらいちがうんだときかかれても、これはちょっと返答にこまるでしょう。

生徒は学校で様々なことを学習します。飲み込みが早い生徒もいれば、時間をかけてゆっくりと理解する生徒もいます。定期考査は、一律に期間を区切って学習の到達を計る仕組みですが、そもそも、定期考査で学習の過程を評価することが十全にできるだろうか、とラディカルな問題提起を發しています。点数化する代わりに、甲乙丙と緩やかなカテゴリーを示すにとどめました。平成30年度に現行の学習指導要領が告示され、適切な学習評価の実施が重視されています。観点別評価が導入され、点数を示すのではなく、ABCと緩やかに評価するようになりましたが、丸山先生はその先駆けだったということができるといえるでしょう。

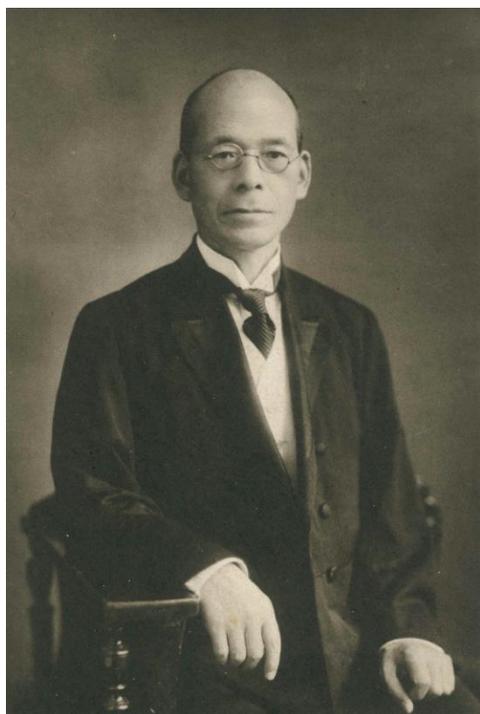
平均点や「席次」を出すことはなく、「通信簿」も発行しませんでした。丸山先生の教育方針は斬新だったようで、保護者や上級学校から質問を受けたようです。その度ごとに理由を説明し、理解を求めています。丸山先生は、以下のように述べています。

—しかし、こと教育については、規則や法律のほうが、どうも遅れていることがあるんです。それを規則だから、なんだからといってとらわれていると、ほんとうにいい教育なんてできるわけはありません。だから道理にあわない無茶はいけません、自分が正しいとおもったら、少しくらいよけいなことをやったって、さしつかえないんだ、あの学校で18年間校長しているあいだ、いつもそういう気持で、私はやってきたつもりです。

### (3) 今後の教育活動に生かす

以上、2点にわたり要点を確認しました。生徒の心身の健康に常に留意し、学習の過程を評価しようとする姿勢は、学校教育を担う私たち教育者にとって、忘れてはならない視点です。もちろん、大正と令和と時代状況が異なる点は多々あり、単純に比較できないところがあります。大正の本校では定期考査がなかったのだから、明日から定期考査を廃しようとする提案することは現実的ではありません。しかし、記事を読み、方法は何であれ、上述の視点をもつことは時代に関わりなく求められていると改めて実感させられました。

丸山先生が実践したことを明記することで、本校がこれまでの伝統を受け継ぎながら、次の100年に向けてますます発展することを祈念し、これを喜びの言葉とします。



丸山丈作初代校長



当時の正門の様子

## 編集後記

夏目漱石の『夢十夜』は、国語教科書に掲載されており、高校生にとって興味を抱きやすい短編小説です。本校では、1年生の授業で教材として読んでいます。第一夜は、100年待っていてください、待っていただけますか、と女が言葉を遺して深い眠りに就くところから始まります。男は目が覚めるのを傍らですっと待っています。代わりに白百合が咲くのを見て「100年はもう来ていたんだな」と気付かされるという不思議な話です。もっとも、本校が舞台だったら百合ではなく撫子、ということになるのですが。

100年前といえば、大正12(1923)年、関東大震災が発生、その数年前にパンデミックが発生したことは歴史の教えるとおりです。「歴史は繰り返される」とは使い古された表現です。100年とはあまりに長大な年月であるものの、同時に、漱石の小説のようにあっという間に流れてしまう時間なのかもしれません。私たちは生活したり、仕事をしたりするなかで、意外に当時と同じような悩みを抱え、同じような手ごたえをもちながら、前に進んでいるのかもしれない、と感じました。

100年という伝統を擁する本校の記念事業に関わったことは、この上ない光栄です。編纂を通して、本校が、本校を愛してやまない同窓生や献身的な保護者の方々に支えられているからこそ、生徒はのびのびと活動し、教職員は職務に取り組んでいたことを改めて実感させられた次第です。本校が、これからも多くの生徒の成長を支援し、社会へ送り出す学び舎として発展することを祈念し、次の100年に向けてこの灯火をしっかりと受け継いでゆきます。

(大友 尚)

東京都立三田高等学校創立100周年記念事業実行委員会

発 足 令和3年4月1日

校 長 内田 隆志

委員長 井上 雅文

委 員 東 達康 前田 万貴子 藤井 英一 櫛野 千織 岡戸 靖一

栗原 信一郎 佐藤 貴文 江下 晋介 緒方 弘治 小林 裕次

田村 尚志 広瀬 克己 井上 雄介 八坂 真紀子

表 紙 原 向日葵 (76期生)

### 東京都立三田高等学校創立100周年記念誌

令和5年6月9日発行

編集・発行 東京都立三田高等学校

東京都港区三田1丁目4番46号

電話 (03) 3453-1991

